

令和7年度第1回袖ヶ浦市公民館運営審議会

1 開催日時 令和7年5月16日（金） 午後3時開会

2 開催場所 根形交流センター 2階視聴覚室

3 出席委員

委員長	篠原 和行	委 員	杉浦 智子
副委員長	片寄 礼子	委 員	鈴木 美恵子
副委員長	石井 喜三江	委 員	竹内 良雄
委 員	粕谷 和俊	委 員	高橋 亜由美
委 員	田中 輝博		

(欠席委員)

委 員	庄司 光利	委 員	福原 孝彦
委 員	早川 敦		

4 出席職員

教育部長	高浦 正充	長浦公民館顧問	地引 等
生涯学習課課長	長谷川 秀明	根形公民館館長	大野 正彦
市民会館館長	島田 宏之	根形公民館顧問	平賀 栄三郎
昭和交流センター 副主幹	木村 卓郎	根形交流センター 主査	戸塚 愛佳
平川公民館館長	齊藤 秀夫	平岡公民館館長	神保 繁一
平川公民館顧問	本橋 俊哉	平岡公民館顧問	庄司 三喜夫
長浦公民館館長	須田 紀子		

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

6 報告

(1) 令和6年度市民会館・公民館事業の実施結果について

7 議題

(1) 令和7年度市民会館・公民館の事業計画について

- (2) 令和7年度袖ヶ浦市公民館運営審議会の年間計画について
- (3) その他

8 その他

篠原委員長

報告(1) 令和6年度市民会館・公民館事業の実施結果について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局

(資料1 ページから22 ページに基づき、木村副主幹、齊藤平川公民館館長、須田長浦公民館館長、平賀根形公民館顧問、神保平岡公民館館長が説明)

篠原委員長

ただいまの説明について、何か質問等ありますか。

片寄副委員長

根形交流センターからの説明の中で、一般の企業が研修等で会議室を使用し、公民館の新たな使い方についての報告があり、また、平岡交流センターでも同様の報告があったかと思いますが、他の館でも交流センターとなり、新たな使い方等がありましたら教えていただければと思います。交流センターになって、良い点・悪い点もあるかと思いますが。その点も含めて、各館(各交流センター)の内容を教えていただければと思います。

木村副主幹

公民館が交流センターになって、買い取り業者による施設利用があったことを確認しています。昭和交流センターにおける買い取り業者の使用件数としては、年間10件弱程度です。それ以外に関しては、都内などから「交流センターになったそうですが、どんな使い方ができますか」といった問い合わせも増えています。

また、民間の方からのポスターの掲示依頼も増えていますが、そのまますぐに掲示していいか悩むような営利目的の内容のものも含まれています。掲示に悩んだ際は、各交流センターで情報共有しながら、対応していきたいと思っています。

なお、民間による面接、試験、講習会としての利用もあります。

齊藤平川公民館館長

市民会館(昭和交流センター)同様、回数については、現在、把握していませんが、買い取り業者への貸し出しが増えている印象を持っています。

須田長浦公民館館長

他館と同様、買い取り業者の利用と学習塾の利用がありました。

神保平岡公民館館長

平川交流センターと同様、買い取り業者が利用しています。平川・平岡の各センターと日にちをつなげて利用しているようです。

また、先ほど説明を省略しましたが、平岡が開催している国際理解セミナーの中で、ウクライナのことについて取り上げました。こちらは、ウクライナの生活や文化を紹介するものですが、この講座終了後に、チャリティ的な意味合いもありますが物品販売を行っています。自国の医療体制が不十分なところ、手術する関係でウクライナに帰国せざるを得なかった方がいた関係であり、その方が作った小物を販売したという内容です。

講座開催と物品販売をきっかけに、講座生にとっては、今世界に起こっていることを身近に感じる機会になったと思います。

片寄副委員長

交流センターになって、困ったことはなかったですか。

木村副主幹

先ほども申し上げましたが、ポスターの掲示などの企業によるPRに対して、当該施設は公共施設なので、掲示してもいいのか1つの館（センター）だけで判断するのではなく、現在は、各公民館（各交流センター）と連携しています。そういった掲示物の悩みは、実感しています。

竹内委員

事務局に確認したいのですが、交流センターとしてのガイドラインについて、5館（センター）共通で持っていますか。

木村副主幹

公民館として公民館施設貸出マニュアルというものを作成済みであり、職員だけでなく、窓口の管理人の方々にも共有しています。

なお、交流センター化する前に、公民館館長と職員が内容を精査の上、交流センターマニュアルというものを作成しました。内容によっては、至らない部分や不足する部分があるかと思いますが、適宜更新していけたらと考えています。

島田市民会館館長

補足となりますが、交流センターになった後も、施設が袖ヶ浦市の財産であることは間違いありません。市民の方から見ますと、市役所の建物、市役所の職員

が運営している建物です。最低限、その信頼を失うようなことについては、お断りさせていただくことになります。具体的には、公序良俗に反するもの、反社会的な内容のもの、特定の政治団体・宗教の勧誘団体、こういったものはお断りしています。そのようなものでなく、生涯学習や自らの人生を豊かにするものかどうかなど、その利用方法について見極め、貸し出しを行うといった従来と変わらない形を取っています。

篠原委員長

竹内委員、よろしいですか。

竹内委員

結果としては、あまり変わっていないということですね。

篠原委員長

それでは、議題に入ります。

議題（１）令和７年度市民会館・公民館の事業計画についてです。

内容は、お手元の資料２３ページから３５ページのとおりです。

事務局から説明をお願いしますが、要点を絞ってお願いしたいと思います。特にこれだけはPRしたいというものがありませんでしたら、そこは必ず言っていたければと思います。それでは、市民会館からお願いします。

事務局

（資料２３ページから３５ページに基づき、木村副主幹、本橋平川公民館顧問、地引長浦公民館顧問、大野根形公民館館長、庄司平岡公民館顧問が説明）

篠原委員長

今年度の活動等の説明が終わりましたが、質問等ありますか。

粕谷委員

根形公民館のねがたファミリーコンサートは、昨年度も実施されていますが、予算は６万円です。よろしいですか。私は市民会館主催の市民音楽フェスティバルに携わっていますが、数年前はプロの演奏家を頼んでいました。ただ、ここ数年は予算の関係もあり、プロのゲスト演奏ができていません。ねがたファミリーコンサートでは、どのような方が来ていますか。

平賀根形公民館顧問

昭和小・中の出身であり、袖ヶ浦市ジュニアオーケストラにも在籍したバイオリン奏者の小泉さん、ホルン奏者である小泉さんのご主人、ピアニストの鈴木さ

ん、その3名の方が演奏してください。袖ヶ浦市にお世話になったということで、その金額で毎年演奏してくださっている状況です。

粕谷委員

毎年、同じメンバーが演奏してくださっているということですか。

平賀根形公民館顧問

そのとおりです。

なお、ホルン奏者のご主人が参加できないときは、違う方が来てくださることもあります。基本的には3名の方が演奏しています。

粕谷委員

プロが3名で6万円とは大変少額と考えます。これは、他ではやってもらえないですか。

平賀根形公民館顧問

根形公民館としては、他に紹介することで、こちらができないとかになってしまうと困る部分があります。

篠原委員長

他に質問等ありますか。

石井副委員長

どこの公民館も、災害・避難を学ぶ講座を一生懸命やってくださっているようですが、私は昭和地区に住んでいてまだそういう講座を知らない状況です。実際に避難するにあたり、私はどこに逃げたらいいのだろうと考えています。昭和地区は、市役所に近いから大丈夫という認識ですか。

木村副主幹

市民会館では、前年度、単発講座を市の総合防災訓練と絡めて実施しました。

市民会館としては、総合防災訓練を通じて、昭和地区の皆さんの防災ニーズを実感しました。令和7年度においては、女性セミナーの中で防災の出前講座を行うとともに、市民会館（昭和交流センター）の敷地内に備蓄倉庫がありますので、そういったものを紹介したいと思っています。防災ニーズについては、市民会館としても把握していますので、今後、企画として取り上げていきたいと思っています。

石井副委員長

単発で行ったとしてもどうなのでしょう。

私は民生委員ですが、市の講座を受けています。内容は概念的であり、実際に災害が起きたらどうしたらいいのかとを感じるもので、単発での実施では、そこまで追求できていないと思います。地域に浸透させるなら、毎年少しずつでもリーダー的な人を混ぜて、人材的な部分も含めて考えることが必要と思い、正直心配しています。市民会館以外の公民館では、かなり防災に係る企画を実施していますが、どの程度地域に浸透しているのか伺えればと思います。

本橋平川公民館顧問

毎年、基本的な災害についての話を行い、避難所開設のマニュアル化したものを提供する、これらを繰り返し行っています。

石井副委員長

繰り返しは必要ですね。

市役所の防災の方に、段ボールベットを見せていただいて、簡単に作れると紹介されたのですが、私は理解できない部分がありました。そういう意味でも、少しずつやる必要があると思います。皆さんの努力はすごいと思っています。

本橋平川公民館顧問

比較的、平川は大きな災害が起こる場所ではないのですが、地震とか家屋の倒壊は考えられるので、新聞紙で作る防災グッズとかをつくるなどもできればと思っています。ただ、地域への浸透具合となると、なんとも言えない状況です。

石井副委員長

何回も繰り返すことは、大切と思っています。

本橋平川公民館顧問

何回も繰り返すことで、意識付することは必要と考えています。

神保平岡公民館館長

各公民館で様々なことを実施しており、平岡についても資料に記載のとおり、地域人材育成講座の中で行っています。これは令和3年度から行っていますので、平岡の場合は、令和3年度からステップバイステップで学べるように考えて取り組んでいます。当初は、まず、自分で身を守ることを意識し、それから、共助ということで、避難所運営について学ぶということも行ってきました。

現在、どのレベルにいるかという、災害が発生して、だいたい3時間以内には避難所を開設するということになっています。避難所を開設するための1つ1つの行動をマニュアル化しましたが、令和6年度ですと、HUG（避難所運営ゲーム）を通じながら、マニュアルに近い形で、どのように避難所を運営・開設

するのかということを行いました。ただし、避難所の開設となった場合、体育館に寝るスペースを確保するということをイメージされると思いますが、実際にそれを行うには、区画割を行い、その後、防災安全課から支給される銀マットを敷くのですが、去年は、訓練用に区画割を市の職員が引きました。それ以降の対応である銀マットを敷くことについては、参加者自身が行い、避難所を開設するときにはこんな感じであると体験してもらいました。今年は、最初から、区画割を市民の方にやっていただいて、具体的なレベルで体験していただこうと思っています。避難所運営は、最初の3時間のみならず、その後もあるわけです。そこは、市の職員ができるレベルではないので、被災者の皆さんでやらなければならないので、そういうことも伝えていけたらと考えています。

平賀根形公民館顧問

10年位前から、社会教育推進員から意見もあり、炊き出し訓練を行っていました。その後、地域人材育成講座が始まり、根形としては、長期的スパンと短期的スパンで考えたほうが良いとのことで行っています。

長期的なスパンは、小・中学生の時に色々なことを体験させることを意識しています。知識を教えることは、長期的なスパンとして生きていくと考えています。小学生は、自分の身を守ることを考える上で、自分の住んでいる地区のどこが危険なのか、一般的なことを学んでもらいます。中学生は体も動きますし、体力もありますので、学年別を実施し、1年生は設計図を見ながら自分たちでパーテーションを作ってみる、2年生は消防署にお願いしてAEDの使い方を学ぶ、3年生はかまどでお湯を沸かしました。お湯を沸かすことができれば、どんなことにも生きてきます。今後も学年を通じて取り組む、これが長期的なスパンです。

短期的なスパンは、現在住んでいる地域の方々に市の防災訓練に参加していただく、段ボールベットを組み立ててもらい、また根形ではバッククッキングという、いわゆるビニールの中にお米を入れて、ご飯を作ることを実施しています。これは、水を最小限に抑えることができるので、有効であると考え、この1～2年は取り入れています。これを繰り返していけば、役員の方も毎年変わりますが、引き継いでいくものもありますので、避難してきたときに、一緒に運営いただけるかと考えています。

地引長浦公民館顧問

地域人材育成講座は各館で実施しており、5館のうち3館が避難所ですとか、防災関係をテーマに行っています。長浦と昭和については、長浦は地域デビュー、昭和が地域理解をテーマに行っていますので、他館に比べて防災に取り組んでいないのは、実情です。長浦については、高校生や大学生の人材を育成しようということで取り組んでいます。

なお、まったく防災に関することを行っていないというわけではなくて、遊学

塾等講座の中で災害時の食とトイレについて学んでいます。

篠原委員長

石井委員から話がありましたが、防災については、色々な訓練があります。逃げるだけというの也有ります。

定時制の学校で夜に停電になったらどうするという想定で、実際に訓練を行ってみました。真っ暗で周囲は全く見えません。やっと歩ける状態です。その後、計画停電というものがありまして、この時の訓練がとても役に立ちました。そのようなこともありますので、長いスパンで行うことも大事ですし、利用者や講座生がいるときに、ちょっと行うのもいいと思います。また、場所については、雨、風、地震等を想定して行っていただけたらと思います。

その他について、何か意見等ありますか。

片寄副委員長

長浦公民館について、先ほどご説明いただいたとおり、尺八・お箏教室が中止になったとのことですが、発展的な解散ということであり安心しました。

また、長浦公民館について再確認したいのですが、講座の回数が減っていることは、質を上げることによる変更とのことでしょうか。

予算額についてですが、令和6年度の決算額よりも今年度の予算が下回ったものがあります。例えば、平岡公民館の社会教育推進員活動について、令和6年度は4千円計上していますが、今年度は計上していないようです。その他、地域人材育成についても、昨年度は9万7千円とのことですが、今年度は5万4千円と少なく、講座の運営に影響はないですか。

さらに、教育ビジョンについてですが、ホームページによる情報の発信について、最低でも各館50回以上としていますますが、実際の対応結果を見ると、各館において差があるようです。

最後に、教育ビジョンにおける目標は、交流センターとの目標と整合性がとれているのでしょうか。そこについてのすり合わせは、できていますか。

地引長浦公民館顧問

各講座の回数が若干減っている件について、委員の発言のとおり、若干回数を減らしているものもあります。これは、交流センターになったからではなく、以前から職員の頑張りがあり、難しい事業についてもあえて挑戦していました。そういう中で、私としては、非常に残業が多いと感じました。いま一度、働き方について立ち止まって考えていかないと、病気になってしまうのではないかと思います。ただ、色んな場面で回数を減らすのは後ろ向きに捉えられますので、なかなか決断できることではなかったり、講座生に説明をしなくてはいけないことだったりしますので、簡単なことではありませんでした。

家庭教育学級を各学校で年間4回実施していましたが、学校が4校ありますので、非常に大変だったと聞いています。内容を変更の上、各学校で1回企画し、4校にチラシを配ることに変えたところ、PTAには非常に好評で、講座1回に集中でき、本当にやりたいことができるとの声がありました。講座の質が上がりました。そういうことを見ていると、回数だけが尺度ではないことを我々は学びました。質をあげていく関係で、若干回数を減らしていきませんが、働き方の見直しということにもつながるのかなと思っています。

神保平岡公民館館長

資料35ページの社会教育推進員活動について、実際には前年度と同じ4千円を計上しています。訂正をお願いいたします。

片寄副委員長

地域人材育成講座については、いかがですか。

神保平岡公民館館長

地域人材育成講座については、先ほども話したとおり、ステップバイステップで避難の運営を行っているところです。昨年度ですと、3回ともHUGを行い、この時は3回とも講師を呼んで行いましたので、決算額が高くなっています。今年度に関しては、講師を呼んでHUGをやるというよりは、自分たちでやることは自分たちで行う、災害対策コーディネーターをお願いするなどを考えていますので、予算の面で抑えられているという状態です。

片寄副委員長

運営に支障はないですか。

神保平岡公民館館長

支障ありません。

篠原委員長

HUGを行うにはお金がかかる、講師代がかかるということですね。

木村副主幹

片寄副委員長の残りの質問について、教育ビジョンと交流センターとの関わり、ホームページの更新対応という認識でよろしいですか。

片寄副委員長

そのとおりです。

教育ビジョンにおいて目標値が設定されていますが、交流センターとしても、そのすみ分けがすんでいて、公民館として行っていこうということなのですか。

木村副主幹

昨年度も少し説明したのですが、交流センターについては、第2次袖ヶ浦市協働のまちづくり推進計画というものがあり、そこで交流センターに関する目標値というものを設定しています。例えば、交流センターとして地域まちづくり協議会の支援に何回取り組むかなど、交流センター部分については、市長部局の方で目標値などを設定しております。

教育ビジョンについて、交流センターは、教育委員会の補助執行をしており、教育に関する部分では、教育ビジョンに則って計画の上、業務を執行しているという形です。

ホームページの更新回数を年50回にしている根拠については、週1回更新すれば、年50回程度になると個人的には考えていますが、市民会館としましては、広報誌への掲載やLINE、ホームページ掲載と合わせ、50回はクリアしています。ホームページに関する見解などを各館に確認しますか。

片寄副委員長

各館の数値について、4館は達成していることを確認しています。

島田市民会館館長

ホームページの更新回数というのは、あくまで目安として考えていただければと思います。

現在、市民向けの情報発信は、インターネット関係が多くなっています。情報は生ものであり、新しくなければ、その鮮度は失われていきます。そういったことを意識の上、更新していくことを念頭に取り組んでいます。古い情報も蓄積していきますが、新しい情報や講座の内容を適宜発信していくという意味で年50回としているところです。特に回数にこだわるのではなくて、その質を確認いただければと思います。

篠原委員長

ホームページに載っている情報が古く、かつ内容が変わっていないと苦情が来ると思います。情報は生ものとの発言がありましたので、そのように対応いただきたいと思います。

他はよろしいですか。

それでは、議題（1）については、以上で終わりにしたいと思います。
1年間色々大変でしょうけれども、よろしくお願いいたします。

次に、議題（２）袖ヶ浦市公民館運営審議会の年間計画についてです。
内容については、資料３６、３７ページを見てください。資料説明について、事務局お願いします。

事務局

事務局（木村副主幹）説明。

篠原委員長

（２）の公民館運営審議会の年間計画について、ご意見はありますか。

粕谷委員

１年間、公民館運営審議会がなんだかわからずに参加していたのですが、私の思っているのと違うなということがあります。

公民館運営審議会というのは、条例の方で定められていて、館長の諮問を受けて、私たち委員が審議して答申を出すというのが決められているかと思います。昨年度、君津地区４市で諮問がなかったのは、袖ヶ浦市だけであり、今年度も諮問がない状況です。袖ヶ浦市は、諮問するような状況でないという認識でよろしいですか。

篠原委員長

昨年度の４市の研修会の時に、各市でこういう諮問がありましたとか、諮問まではいかなくても、こういう課題を議論するのはどうだろうということで、全員ではなくてもグループで研修したという話を聞きました。

袖ヶ浦市では、そういう話についても無いということですが、事務局の見解はどうですか。

木村副主幹

君津市でも、生活課題とか地域課題で諮問の上、答申を行い、富津市でも、富津埋立記念館について諮問の上、答申するといったことがあったと認識しています。

袖ヶ浦市では、現時点でそこまでの諮問というものを事務局として無いものと認識し、その結果、今回の資料のような形にしたものです。ただ、審議会の存在価値というものもありますので、審議員の皆様と積極的な交流が図れるよう、諮問・答申等については研究していきますので、この場では現状保留とし、今後皆様に相談したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

篠原委員長

こういう問題についてぜひ、審議会で議論したいということや審議員が集ま

って案を出すこともあると思います。事務局からも何かありましたら提案ください。皆さんで一緒に対応していければいいと思います。

それでは、議題（２）を終わりにします。

議題（３）その他ですが、委員からこういうのを議題にしたいというものがありましたらお願いします

無いようですので、事務局から何かありますか。

木村副主幹

事務局からは、３８ページと４２ページについて報告があります。

３８ページの理事の推薦、４２ページの実行委員の推薦については、本日の審議会前に報告期限を迎えていたため委員長と相談の上、報告しました。

詳細については資料のとおりです。

篠原委員長

誰を推薦したかの報告をお願いします。

木村副主幹

理事については、現理事の継続確認ということでしたので、令和６年度理事であつた片寄副委員長を推薦しています。

実行委員については、委員長と相談の上、昨年度も実行委員を務められた早川委員を推薦しました。

なお、早川委員も承知しております。

篠原委員長

その他、事務局から何かありますか。

事務局（木村副主幹）

事務連絡を３点いたします。

- ①君公運審連の集金について
- ②青少年健全育成推進大会の出欠について
- ③第２回公民館運営審議会及び社会教育委員との合同懇親会の案内

篠原委員長

事務局から説明のあつた３件について、皆様よろしくお願ひいたします。

私からも報告があります。

私は前回の審議会を欠席しましたが、会議録を確認した中で、田中委員から公民館の歴史を審議会委員で作成し、公民館まつりの時に飾って公民館の意義や

変遷、活動の様子などをわかるようにしたらどうかと提案があり、準備をしておきたいと話がありました。このことについて、田中委員にもっと詳しく話していただこうと思いますが、この審議会内で行わなくても、審議委員だけで集まって、その趣旨を聞いて、皆さんの思いを聞いて決めたいと思います。

審議会が終了しましたら会議室に移動していただき、田中委員の話を聞いた後、皆さんで論議していきたいと思います。

以上で議事について、終了したいと思います。

事務局

篠原委員長、議事進行ありがとうございました。

閉会の言葉を石井副委員長お願いいたします。

石井副委員長

以上をもちまして令和7年度第1回公民運営審議会を終了いたします。

皆様、長時間にわたり、ありがとうございました。

午後4時40分 閉会

令和7年度第1回袖ヶ浦市公民館運営審議会

日時：令和7年5月16日（金）

15時～

場所：根形交流センター 2階視聴覚室

次 第

1 開会のことば

2 委員長あいさつ

3 教育部長あいさつ

4 審議会委員・職員紹介

5 報 告

（1）令和6年度市民会館・公民館事業の実施結果について

6 議 題

（1）令和7年度市民会館・公民館の事業計画について

（2）令和7年度袖ヶ浦市公民館運営審議会の年間計画について

（3）その他

7 閉会のことば

第26期袖ヶ浦市公民館運営審議会委員名簿

No.		氏名	選出区分	備考
1	委員長	篠原 和行	学識経験者	3期目
2	副委員長	片寄 礼子	学識経験者	5期目
3	副委員長	石井 喜三江	学識経験者	3期目
4	委員	庄司 光利	学校教育 小中学校長会代表	2期目
5	委員	粕谷 和俊	社会教育 文化協会代表	1期目
6	委員	田中 輝博	社会教育 子ども会育成会連絡 協議会代表	5期目
7	委員	早川 敦	社会教育 音楽協会代表	5期目
8	委員	福原 孝彦	社会教育 スポーツ協会代表	2期目
9	委員	杉浦 智子	家庭教育	1期目
10	委員	鈴木 美恵子	学識経験者	2期目
11	委員	竹内 良雄	学識経験者	1期目
12	委員	高橋 亜由美	学識経験者	1期目

任期 令和6年7月1日から令和8年6月30日まで

報告(1)令和6年度市民会館・公民館事業の実施結果について

ア 市民会館

No.	教育ビジョン の体系	事業名		対象	実施期日	回数等	延べ参加 人数	決算額 (千円)	予算額 (千円)
1	目標2(1) ①市民への 学習機会 の提供と 情報の発信	ホームページ等による情報の 発信		市民等	随時	53回	-	-	-
2	目標2(2) ①家庭の 教育力 向上の ための 支援	家庭教育 総合推進 事業	乳幼児家庭教育学 級(うたたねハッ ピーくらぶ)(平川公 民館と合同)	0歳から就 学前の幼児 を持つ保護 者20人	5月～12月	10回	保護者106人 幼児93人	市民会館15 平川公民館5	市民会館49 平川公民館15
3			小学校家庭教育 学級	昭和地区の 小学生の保 護者(各回 募集)	7月～2月	5回	89人	5	11
4			中学校家庭教育 学級	昭和中学校 生徒の保護 者(各回募 集)	7月～12月	5回	42人	30	62
5	目標2(2) ③地域の 教育力 向上	青少年 教育推進 事業	子どもチャレンジ 教室	昭和地区の 小学校4年 ～6年生(各 回募集)	5月～3月	8回	345人	25	35
6		青少年相談員支部活動		昭和支部 青少年相談 員14人	通年		14人	-	-
7		地区住民会議(坂戸の森みどりの 会)活動		昭和地区 各種団体 22団体等	通年		22団体等	-	-
8		世代間交流事業		昭和地区の 小学生と その家族	12月7日	1回	136人	-	-
9	目標2(3) ①誰もが 主体的に 学ぶことが できる 社会教育 活動の 推進	成人教育 推進事業	女性セミナー	昭和地区 成人女性 40人	5月～12月	7回	134人	26	30
10			大人のチャレンジ 講座	市内在住・ 在勤の成人 20人	1月～3月	3回	59人	10	19
11			単発講座	昭和地区の 成人50人	2月2日	1回	81人	0	6
12		高齢者 いきがい 促進事業	昭和ふれあい教室 (高齢者教室)	昭和地区の 60歳以上の 方120人	5月～12月	8回	381人	16	52
13		地域人材育成講座 (親子ウォーキング)		昭和地区の 小学生と その家族 25組	10月19日	1回	68人	4	5

No.	教育ビジョン の体系	事業名		対象	実施期日	回数等	延べ参加 人数	決算額 (千円)	予算額 (千円)
14	目標2(3) ①誰もが 主体的に 学ぶことが できる 社会教育 活動の 推進	各種行事 推進事業	第37回市民会館 まつり	市民	11月2日 11月3日	2日間	4,441人	242	240
15	目標2(3) ②社会教育 関係団体の 活動への 支援		ロビー展示	各種団体等	通年	10回	200点	-	-
16			第42回市民音楽 フェスティバル(音 楽協会との共催)	市民	11月24日	1回	670人	189	210
17			第37回芸能文化ま つり(文化協会との 共催)	市民	1月26日	1回	403人	25	36
18			子ども会育成会支部活動	単位子ども 会6団体	通年		6団体	-	-
19			利用者懇談会	定期利用 団体	3月18日	1回	24人	-	-
20	目標2(3) ③学びを 支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動		社会教育推 進員10人	通年		10人	3	4
21	二十歳を祝う会			H16.4.2 ~ H17.4.1 に 生まれた 昭和地区 の二十歳	1月12日	1回	146人	556	585
22	公民館運営審議会			委員12人	5月～2月	5回	41人	381	479
							計	1,527	1,823

市民会館事業の総括

令和6年度については、予定していた講座・学級をすべて実施することができました。

事業の見直し等にも積極的に取り組み、男性セミナーについては、男性及び女性が参加できる「大人のチャレンジ講座」に変更しました。多種多様な市民ニーズに応えるよう事業に取り組んだことで、参加者数が増えた講座・学級もあり、一定の成果を上げたものと考えています。

一方で、参加者数が少ない講座・学級もあり、社会教育推進員会議で意見聴取等をするとともに、参加者アンケート等での意見を踏まえ、適宜、振り返りも実施しました。次年度は、振り返り結果を考慮した上で、学級・講座の企画・運営に取り組んでいきます。

また、職員間での情報共有や、公民館に係る研修にも積極的に参加することで、研修で得た成果を担当業務へ還元するよう努めていきます。

1 一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実

(1) 市民への学習機会の提供と情報の発信

市民の様々な学習ニーズに応えるため、生涯学習ボランティアである社会教育推進員の参画のもと、各種事業等を開催しました。特に、昭和ふれあい教室（高齢者教室）では、地域のシニアクラブ代表と社会教育推進員で構成する運営委員会において、シニアの方々が求めることを事業の企画・運営に反映したことで、参加者数も増加し、好評を得ております。

市民会館・公民館における各種事業の企画・運営及び公民館運営の諸課題を審議するため、公民館運営審議会を年5回開催し、審議会でもいただいた意見をもとに事業の見直し等につなげることができました。

主催事業・講座等の募集及び開催状況を広報そでがうらや市ホームページ、公式LINE等で発信していますが、市民へ学習の場を提供するとともに、学習を希望される方がその機会を逃すことのないよう、引き続き情報の発信に取り組んでいきます。

2 家庭と地域の教育力の向上

(1) 家庭の教育力向上のための支援

子どもの発達段階に応じた保護者を対象に、子育てのヒントとなる学習機会の提供と同じ世代の子どもを持つ保護者同士のつながりを深めるため、家庭教育学級を実施しました。

乳幼児家庭教育学級は、平川公民館と共催し、親子を対象とした体験型講座や、保護者向けの座学を実施しました。また、土日に開催した親子向け講座では、父親の参加も多く見られ、家族ぐるみで交流を図り、保護者向け講座では、保育ボランティアを活用しつつ、学習支援を行いました。

小・中学校家庭教育学級は、市内の助産師を講師に迎えて実施した性教育や、子どものスマホとの付き合い方に関する講座といった子どもの発達段階に応じた学習機会をつくることができました。また、移動教室では、保護者同士が親睦を深めている様子が見られました。

(2) 地域の教育力の向上

子どもを取り巻く社会環境が変化していく中、心豊かな子どもを育成するため、地域の方々の協力のもと、青少年健全育成活動を実施しました。

子どもチャレンジ教室は、体験型教室を中心に開催し、学年や小学校区の枠を超えて交流ができました。

青少年相談員支部活動は、昭和地区の小学校児童が交流をしながら、協調性や思いやりの気持ちを学び、非日常的な体験をすることで、チャレンジ精神やたくましい心を育てることを目指し、デイキャンプを開催しました。また、市民会館まつりでは、かき氷や綿あめの模擬店を出店し、会場を盛り上げる一翼を担いました。

昭和地区住民会議坂戸の森みどりの会は、地域で子どもを守る取組として、子ども安全パトロールや夏季愛のパトロールを実施するとともに、市民会館と共催での親子ウォーキングや、世代間交流事業として正月お飾りづくりとクリスマスリースづくりを実施しました。

3 つながり、支えあう社会教育の充実

(1) 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進

市民の学習ニーズや地域課題及び生活上の課題を的確に把握し、女性セミナー、大人のチャレンジ講座、昭和ふれあい教室、単発（防災）講座において、様々な体験型・講義型の講座を実施しました。

地域人材育成講座は、子育て世代の増加が著しい昭和地区において、親子がウォークラリー形式でウォーキングすることにより、昭和地区の歴史や名所に触れるよう企画・運営しました。講座の目的としては、受講者がこれまで気づけなかった地元の良いところ、地域の魅力を発見するとともに、親子の交流を深めることであり、その目的を達成することができました。

市民会館まつりでは、主に市民会館で活動するサークル団体等に加え、昭和地区の保育園や保育所、認定こども園、小・中学校・高等学校等から出展、発表をしていただくとともに、多くの方々に来場いただき、地域住民の交流機会が持つことができました。

(2) 社会教育関係団体の活動への支援

社会教育関係団体や公民館等で活動するサークル団体等が、自主的な活動を継続できるよう、アドバイスや団体活動の活性化に向けた会員募集支援等を行いました。

また、文化・芸術活動の活性化につながるよう、希望する団体にロビー展示の機会を提供しました。

音楽協会との共催による市民音楽フェスティバルや、文化協会との共催による芸能文化まつりを開催し、関係団体の発表の場と交流の場を提供し、多くの方々が来場しました。

(3) 学びを支える地域人材の育成と活動の促進

社会教育の充実を目指し、地域の代表でもある社会教育推進員と連携し、講座運営だけでなく、地域とのつながりや人間関係づくりにも取り組みました。

引き続き、社会教育を促進するとともに、市民自らが地域課題等に取り組む場合は、そのサポートにも努めていきます。

イ 平川公民館

No.	教育ビジョン の体系	事業名		対象	実施期日	回数等	延べ参加 人数	決算額 (千円)	予算額 (千円)
1	目標2(1) ①市民への 学習機会 の提供と 情報の発信	ホームページ等による情報の 発信		市民等	随時	101回	-	-	
2	目標2(2) ①家庭の 教育力 向上の ための 支援	家庭教育 総合推進 事業	乳幼児家庭教育学 級(うたたねハッ ピーくらぶ)(市民会 館と合同)	0歳から就 学前の幼児 を持つ保護 者20人	5月～12月	10回	保護者106人 幼児93人	市民会館15 平川公民館5	市民会館49 平川公民館15
3			小学校家庭教育 学級	中川小学校 児童の保護 者(随時募 集)	7月～10月	5回	保護者42人 児童43人	16	17
4			中学校家庭教育 学級	平川中学校 生徒の保護 者(随時募 集)	6月～3月	5回	保護者22人 生徒133人	5	16
5	目標2(2) ③地域の 教育力 向上	青少年 教育推進 事業	子どもクラブ	中富地区の 小学生(随 時募集)	5月～2月	7回	81人	16	41
6			書き初め教室	中川小学校 3～6年生 20人	12月27日	1回	26人	6	6
7		青少年相談員支部活動		中富支部 青少年 相談員9人	通年		9人	-	-
8		地区住民会議(中富ふれあいの会)活動		中富地区 各種団体 16団体	通年		16団体	-	-
9	目標2(3) ①誰もが 主体的に 学ぶこと ができる 社会教育 活動の 推進	成人教育 推進事業	初心者・シニア向け スマートフォン教室	市民 各回15人	7月～2月	5回	60人	1	7
10			園芸講座	市内在住・ 在勤の成人 24人	5月～3月	8回	148人	66	65
11			単発講座	市民	4月～10月	3回	76人	20	26
12		高齢者 いきがい 促進事業	平川生活いきいき 講座(高齢者講座)	主に鹿島・中 富地区の60 歳以上の方 30人	6月～1月	6回	87人	14	28
13			おでかけ高齢者 講座	中富地区の 60歳以上の 方20人	10月～11月	2回	24人	12	10
14		災害「避難」を学ぶ講座 (地域人材育成講座)		市民(中富 地区優先) 20人	5月～3月	6回	116人	22	57
15		各種行事 推進事業	第36回平川公民館 まつり	市民	11月16日 11月17日	2日間	2,409人	143	168

No.	教育ビジョン の体系	事業名		対象	実施期日	回数等	延べ参加 人数	決算額 (千円)	予算額 (千円)
16	目標2(3) ②社会教育 関係団体の 活動への 支援	各種行事 推進事業	ロビー展示	各種団体	4月～3月	16回	279点	-	-
17		子ども会育成会支部活動		単位子ども 会1団体	通年		1団体	-	-
18		利用者懇談会		登録サークル・定期利用団体	3月5日	1回	15人	-	-
19	目標2(3) ③学びを支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動		社会教育 推進員 10人	通年		10人	-	-
20	二十歳を祝う会(平岡公民館と共催)			H16.4.2 ～ H17.4.1に 生まれた 平川地区の 二十歳	1月12日	1回	70人	-	市民会館 で計上
							計	326	456

平川公民館事業の総括

令和6年度は、交流センターとして、主に施設管理に関することが市長部局へ移管されました。

公民館事業に関しては、食に関するものを多く取り入れ、単発講座や子どもクラブ等で調理実習やバーベキューを実施し、いずれも好評を博しました。

また、趣味的色彩の濃い内容が、講座参加への応募も多く、単発講座や園芸講座などが好評だったと言えます。このように、趣味的な中でも、必要課題の学習やサークル活動の振興を意図し取り入れたことで、同時に楽しみの時間を提供することができました。

今後は、参加者が集まりにくい講座があるため、社会教育推進員や講座生等の意見を参考にしながら、募集方法や内容、開催時期等を検討していきます。

1 一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実

(1) 市民への学習機会の提供と情報の発信

成人教育推進事業や高齢者いきがい促進事業等の講座として、地域住民の幅広い学習ニーズに応え、生涯学習や社会教育の振興を図るため、講座生へのアンケートをはじめとした意見聴取を行いつつ、社会教育推進員の参画による学級・講座の企画・運営を行いました。

成人教育推進事業は、初心者・シニア向けスマートフォン教室や、園芸講座、単発講座を行い、学習活動と講座生の交流を図りました。

園芸講座は、多くの応募があり、出席率もよく、野菜や果樹、花の栽培知識等学びながら、仲間づくりを行いました。

単発講座は、登録サークルやその講師を迎えての講座を実施するとともに、市の事業への理解促進を含めた調理実習を実施することにより、公民館利用のきっかけづくりを行いました。

初心者・シニア向けスマートフォン教室は、基礎的な文字入力やインターネット検索、キャッシュレス決済等、ニーズに即した内容を行いました。参加者募集は、主に市広報紙のみでしたが、今後は、チラシやポスター等用いながら、より参加者を増やす取組を行っていきます。

高齢者いきがい促進事業の「平川生活いきいき講座」は、終活講座や子どもクラブと合同でボッチャ等を行いました。移動教室は、出席予定者が少なく中止となりました。課題としては、今までの講座生が、高齢化により参加が難しくなってきたり、新たに講座生になる方を募るのですが、今後は、今までの講座生や、新しい講座生が共に楽しく学んで満足できる内容を検討していきます。

そのほか、公民館への理解を深めるため、ホームページやフェイスブックの更新を随時行うとともに、公民館だよりを発行し、情報発信に努めました。

2 家庭と地域の教育力の向上

(1) 家庭の教育力向上のための支援

子どもの発達段階に応じて、市民会館と合同による乳幼児家庭教育学級や中川小学校児童の保護者を対象とした小学校家庭教育学級、平川中学校生徒の保護者を対象とした中学校家庭教育学級を実施しました。

乳幼児家庭教育学級は、親子を対象とした体験型講座や、保護者向けの座学を行いました。土日に開催した親子向け講座については、父親の参加も多く見られ、家族ぐるみで交流を図ることがで

きました。

小中学校家庭教育学級は、それぞれPTAと協議し、SNSや性の家庭教育等、現代の保護者の興味、関心のある内容を実施しました。

課題としては、小中学校家庭教育学級や乳幼児家庭教育学級においても、特に座学での参加者数が少ないことが問題となっています。そのため、参加者募集方法等とともに、小中学校や他館との合同開催等、多様な開催方法を検討していきます。

(2) 地域の教育力の向上

子どもクラブは、中富地区の全児童を募集対象に実施しました。ナイトウォークやトウモロコシ収穫体験、バーベキュー、川遊び等の野外活動が特に好評でした。しかしながら、野外活動は、天候の影響が大きいため、代替等の検討が課題となっています。

また、中富地区住民会議「中富ふれあいの会」主催のデイキャンプでは、レクリエーションやカレー作り、飯盒炊飯、キャンプファイヤーを実施し、構成団体から多くの地域の大人の参加を得るとともに、大人同士、子ども同士、さらに大人と子どもで力を合わせて活動を行う貴重な体験を提供することができました。

青少年相談員中富支部活動への支援については、平岡支部と合同の新春チャンピオン大会を開催するほか、新しい試みとしてモルック体験会やベースボール5体験会を実施し、大勢の地域の子どもに楽しんでもらえる有意義な活動を行うことができました。

3 つながり、支えあう社会教育の充実

(1) 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進

地域人材育成講座は、講座名を「災害『避難』を学ぶ講座」とし、講演や各交流センターを会場とした市総合防災訓練に参加する等の内容で行い、「避難」の考え方や備え、避難所生活を学び、各々の避難の準備について考えることができました。併せて、講座を通して、地域の連帯感の醸成を図りました。

今後は、より各々に合った避難を考えられるよう、また、避難所機能についても学習を深められるような内容を検討し、災害時、地域の多くの方が生き延びることができる人材の育成に努めていきます。

公民館まつりでは、登録サークルによる展示団体が少なくなったものの、登録サークル外の協力も得ることで、充実した内容となりました。また、実行委員所属団体による模擬店やキッチンカー等出店者にも、まつりの盛り上げに大きく貢献していただき、大変にぎわいました。さらに、活動発表を通じて、地域住民同士の交流が図られました。

ロビーワークでは、地域の方の協力を得て、季節感のあるロビーを創出でき、団体による展示の充実も図ることができました。

(2) 社会教育関係団体の活動への支援

交流センターの利用者の意見、各団体が抱える課題について意見交換や、交流センター活用の説明をするため、定期利用団体との利用者懇談会を開催しました。

また、フェイスブックやホームページ等での周知活動、講座の共催等を通し、活動のPRや会員獲得の支援を行いました。

そのほか、ロビー展示を開催して、袖ヶ浦市文化協会加盟団体や登録サークルなどの社会教育関係団体の活動成果の発表機会を提供するとともに、市民に芸術に親しむ機会の提供を行いました。

（３）学び支える地域人材の育成と活動の促進

社会教育推進員の参画を図り、意見を反映させながら、主催事業の企画、運営や公民館まつりを実施しました。

ウ 長浦公民館

No.	教育ビジョン の体系	事業名		対象	実施期日	回数等	延べ参加 人数	決算額 (千円)	予算額 (千円)
1	目標2(1) ①市民への 学習機会の 提供と 情報の発信	ホームページ等による情報の 発信		市民等	随時	63回	-	-	-
2	目標2(2) ①家庭の 教育力 向上の ための 支援	家庭教育 総合推進 事業	子育てパパ応援 講座	2歳から就 学前の幼児 と父親15組	7月～2月	5回	保護者54人、 幼児58人	15	29
3			小中学校家庭教育 学級	長浦・蔵波 地区の小中 学生を持つ 保護者(各 回募集)	7月～1月	6回	137人	10	30
4	目標2(2) ③地域の 教育力 向上	青少年 教育推進 事業	わんぱく教室	長浦・蔵波 地区の小学 校4～6年生 30人	5月～2月	7回	133人	28	34
5			長浦ジュニアお琴・ 尺八教室	長浦小・蔵 波小・昭和 小・奈良輪 小の4～6年 生25人	5月～2月	13回	105人	-	-
6		青少年相談員支部活動		長浦支部 青少年 相談員22人	通年		22人	-	-
7		長浦地区住民会議(ながうら 青空の会)活動		長浦地区各 種団体24団 体	通年		24団体	-	-
8		目標2(3) ①誰もが 主体的に 学ぶことが できる 社会教育 活動の 推進	成人教育 推進事業	まるごと体験セミナー ～1からの味噌づくり～	市内成人 (長浦地区 優先)15人	6月～1月	7回	118人	35
9	ながうら遊学塾			市内成人 (長浦地区 優先)50人	5月～1月	7回	234人	34	46
10	お正月飾りづくり 講習会			市内成人 25人	12月20日	1回	24人	11	11
11	高齢者 いきがい 促進事業		長浦さわやか スクール (高齢者教室)	長浦地区の 60歳以上の 方250人	5月～1月	7回	297人	28	48
12	地域人材育成講座		高校生から 25歳まで の方15人	6月～11月	4回	18人	3	4	
13	各種行事 推進事業		長浦公民館まつり	市民	11月16日 11月17日	2日間	5,007人	190	222
14			ロビー展示	各種団体、 サークル	通年	9回	125点	-	-
15	目標2(3) ②社会教育 関係団体の 活動への 支援	利用者懇談会		各種団体、 サークル	3月18日	1回	45人	-	-

No.	教育ビジョン の体系	事業名	対象	実施期日	回数等	延べ参加 人数	決算額 (千円)	予算額 (千円)
16	目標2(3) ③学びを 支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動	社会教育推 進員10人	通年		10人	2	4
17	二十歳を祝う会(長浦地区)		H16.4.2 ～ H17.4.1 に 生まれた 長浦地区の 二十歳	1月12日	1回	81人	-	市民会館 で計上
	二十歳を祝う会(蔵波地区)		H16.4.2 ～ H17.4.1 に 生まれた 蔵波地区の 二十歳	1月12日	1回	138人	-	市民会館 で計上
						計	356	463

長浦公民館事業の総括

長浦公民館は、第3期教育ビジョンの基本目標である「未来を創る 心豊かで いきいきとした 人づくり」の実現に向け、社会教育推進員や社会教育関係団体等との連携により、各種事業を実施しました。

1 一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実

(1) 市民への学習機会の提供と情報の発信

地域の学習拠点として、住民の多様な学習ニーズに応えるため、世代に応じた学習機会を提供しました。また、主催講座の開催状況などをホームページで発信するほか、X（旧ツイッター）を活用し、館のトピックスの発信に努めました。

2 家庭と地域の教育力の向上

(1) 家庭の教育力向上のための支援

子どもの発達段階に応じて、「子育てパパ応援講座」と「小中学校家庭教育学級」を開催しました。

子育てパパ応援講座では、父親と子どもがいっしょに取り組める活動を行いましたが、子どものペースにあわせて優しく接している場面が多く見受けられました。

小中学校家庭教育学級は、地区内4校のPTA合同により開催しました。講座の企画・運営にあたり、公民館とPTAがそれぞれの長所をいかし、協力して実施することができました。

(2) 地域の教育力の向上

青少年教育推進事業として「わんぱく教室」と「長浦ジュニアお琴・尺八教室」を開催しました。

わんぱく教室は、地区住民会議「ながうら青空の会」などの地域の各種団体の協力のもと、デイキャンプやペットボトルロケットづくりを開催し、子どもたちに日常を離れた様々な体験活動を提供することができました。

長浦ジュニアお琴・尺八教室は、基礎練習からはじまり、発表曲を繰り返し練習し、公民館まつりミニコンサート及び音楽協会定期演奏会（邦楽部門）で練習の成果を堂々と披露することができました。

3 つながり、支えあう社会教育の充実

(1) 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進

成人教育推進事業として「まるごと体験セミナー」「ながうら遊学塾」「お正月飾りづくり講習会」を、高齢者いきがい促進事業として「長浦さわやかスクール」を、地域人材育成講座として「地域デビュー講座」を、各種行事推進事業として「長浦公民館まつり」を開催しました。

地域課題に取り組む地域人材育成講座は、地域デビュー講座として、地域に愛着を持ち、地域とつながりを持ちたいと考えている若者に地域デビューのきっかけづくりの場として開催しました。若者を対象として3年目が終了しましたが、講座生の満足度は高く、地域の方との結びつきができた、活動を通して幅広い世代の方とのコミュニケーション能力が身についたとの感想もありました。

長浦さわやかスクール（高齢者教室）では、地域のシニアクラブの代表者と社会教育推進員による運営委員会を構成し、当事者である高齢者が講座の企画、運営に携わりました。

長浦公民館まつりは、展示や発表のほか会場の準備や片付など、多くの利用者の協力を得て盛況に開催することができました。展示・発表に限らず、多くの定期利用団体の参加、協力が年々増えてきています。

（２）社会教育関係団体の活動への支援

交流センターの利用及びサークル活動のあり方について理解を図るとともに、情報交換をとおして定期利用団体の活動の充実を図ることを目的に、利用者懇談会を開催しました。

また、身近な発表の場として、年間を通してロビー展を開催し、各種団体やサークルの学習成果を発表しました。併せて市民が芸術作品に親しむ機会を提供しました。

（３）学びを支える地域人材の育成と活動の促進

生涯学習ボランティアである社会教育推進員と職員が協力し、お互いの意見を反映しながら公民館事業の企画運営を行い、事業を実施しました。個々の知識と経験を活かしあった事業展開を実現しました。また、研修会を開催し知見を広めました。

エ 根形公民館

No.	教育ビジョン の体系	事業名		対象	実施時期	回数等	延べ参加 人数	決算額 (千円)	予算額 (千円)
1	目標2(1) ①市民への 学習機会 の提供と 情報の発信	ホームページ等による情報の発信		市民等	随時	10回	-	-	-
2	目標2(2) ①家庭の 教育力 向上の ための 支援	家庭教育 総合推進 事業	乳幼児家庭教育 学級	2歳から就学前 の幼児を持つ 保護者	9月	2回	保護者42人 幼児49人	19	24
3			小中学校家庭教育 学級	根形小児 童・ 根形中 生徒の 保護者(各 回 募集)	6月～11月	6回	79人	17	29
4	目標2(2) ③地域の 教育力 向上	青少年 教育推進 事業	花まる絵画教室	市内小学 1年～3年生 16人	6月～12月	6回	86人	40	38
5			子ども絵画教室	市内小学 4年～6年生 16人	5月～12月	9回	95人	48	54
6			ねがたオープン キャンパス (ねこまる)	N.O.C(根形地 区の青少年)及 び登録サーク ル会員等、根 形小児 童(各 回募集)	8月	4回	115人	13	23
7		青少年相談員支部活動		根形支部 青少年相談員 8人	通年		8人	-	-
8		地区住民会議(根っ子の会) 活動		根形地区の 各種団体等 18団体等	通年		20団体等	-	-
9		目標2(3) ①誰もが 主体的に 学ぶことが できる 社会教育 活動の 推進	成人教育 推進事業	成人絵画教室	市内在住・ 在勤成人 15人	5月～2月	10回	124人	62
10	地域再発見講座			市内在住・ 在勤成人 20人	6月～1月	7回	94人	17	29
11	高齢者 いきがい 促進事業		根形ニコニコ教室 (高齢者教室)	根形地区の 60歳以上の 男女60人	5月～2月	10回	253人	47	55
12	地域人材育成講座		根形地区住民、 根形小児 童・根形 中学校 生徒 及び PTA	9月～2月	4回	417人	46	65	
13	各種行事 推進事業		根形公民館まつり	市民	11月2日 11月3日	2日間	2,971人	218	326
14			ねがたファミリー コンサート	根形ニコニコ 教室 生、根 形 地区親子	7月27日	1回	124人	45	45

No.	教育ビジョン の体系	事業名		対象	実施時期	回数等	延べ参加 人数	決算額 (千円)	予算額 (千円)
15	目標2(3) ②社会教育 関係団体の 活動への 支援	各種行事 推進事業	ロビー展示	各種団体他	通年	9回	82点	-	-
16			根形公民館 サークル作品展	根形公民館で 活動する芸術・ 工芸関係サー クル等	3月15日～3月23日	9日間	362点	27	15
17			書初め教室	根形公民館で 活動する書道 サークル等	12月26日	1回	24人	5	5
18		利用者懇談会		定期利用団体	3月18日	1回	19人	-	-
19	目標2(3) ③学びを 支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動		社会教育 推進員10人	通年		10人	4	4
20	二十歳を祝う会			H16.4.2 H17.4.1に 生まれた 根形地区の 二十歳	1月12日	1回	44人	-	市民会館 で計上
							計	608	780

根形公民館事業の総括

令和6年度市民会館・公民館経営方針に基づき、地域住民の様々な学習要望に応えるべく、生涯学習の拠点として、地域の持つ課題や社会の変化に応じた課題を十分に把握し、地域住民、学校等の関係機関、社会教育関係団体をはじめとする各種団体、社会教育推進員との連携により事業活動を展開しました。

公民館施設が交流センターとなり、市民サービスが拡充したほか、公民館まつり等の行事では多くの方が来館され、生涯学習の学びの機会を設けるとともに、地域の人々の学習や体験活動を通じてつながりを深め、社会教育活動を推進しました。

1 一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実

(1) 市民への学習機会の提供と情報の発信

子どもから高齢者までが学ぶことのできる各種講座や行事等の場を提供し、社会教育推進員の意見を組み入れながら、学習意欲や地域課題に応じた学習内容に努めました。

また、より多くの市民の参加を促すべく広報、チラシやポスターの配布、ホームページ及びSNSを活用して周知を図り、公民館の活用を促進するとともに、館報の発行等により公民館活動の情報を発信し、公民館事業や地域への理解を深めました。

2 家庭と地域の教育力の向上

(1) 家庭の教育力向上のための支援

子育てに関する学習を行うとともに、同じ世代の子どもを持つ保護者の交友関係を広げることを目的に、子どもの発達段階に応じた家庭教育学級を開設し、家庭の教育力向上に努めました。

小中学校家庭教育学級は、根形小学校及び根形中学校のPTAとの連携を意識し、小中学校合同で行い、家庭教育について学習や仲間づくりを行いました。より多くの参加を募るため、PTAからの要望に応えた講座を開催し、参加者は前年度を上回りました。

幼児家庭教育学級は、昨年度のワーキングママ支援講座から事業を変更し、働いている母親、またはこれから働くことを考えている母親に対して、仕事と家庭・育児を両立していくうえでの子育てのコツや働き方等について学ぶとともに、受講生同士の情報共有・共感する機会となりました。

(2) 地域の教育力の向上

青少年が集い、交流し、育みあう場所「ねがたオープンキャンパス(ねこまろ)」を地域の若者(N.O.C)と根形公民館及び地区住民会議「根っ子の会」の共催により実施しました。通常版では、登録サークル等による根形小学校の子どもたちへの学習支援やレクリエーション協会の協力を得てレクリエーションを行い、特別版では、青少年相談員や根形小PTAも加わって当館の登録サークルを講師に迎えた陶芸体験を行い、ねこまろの活動を支援しました。各活動には高校生ボランティアも参加し、子どもから若者、大人も交えた世代間交流、地域の協働が実現しました。

また、地域で子どもを守る体制づくりとして、地域で子どもの安全を守るため、子ども安全パトロールなどの取組を行う地区住民会議、体験活動や異年齢の交流を通して青少年健全育成に取り組む青少年相談員及び社会教育関係団体等の諸活動を支援しました。

3 つながり、支え合う社会教育の充実

(1) 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進

地域の活動拠点として、関係行政機関や地域の各種団体、公民館登録サークル等と連携・協力を図るとともに、公民館運営審議会の意見を参考に、子どもから高齢者まで誰もが学ぶことのできる主催事業の企画・運営にあたりました。

地域人材育成講座では、「学びをとおした地域防災」をテーマとして、根形小学校及び根形中学校の協力を得て防災学習会を実施し、将来、地域を担う子ども達の防災意識や地域への関心の向上につなげました。また、パッククッキングによる災害非常食作りや市防災訓練と合わせた避難所開設訓練、HUG訓練等を行い、根形地区の住民に災害時の初動等の体験及び地域課題を学ぶ機会となりました。

根形公民館まつりは、登録サークルをはじめ、地域の各種団体の協力を得て、学習成果の発表や展示の機会、地域の交流の場となり、多くの方の来館により日頃の根形公民館活動の周知につながりました。

(2) 社会教育団体の活動への支援

公民館登録サークル等社会教育関係団体の活性化と自主的な運営を支えるため、広報等で活動の周知を行いました。

また、公民館のロビースペースを利用した展示や、1年間のサークル等の活動の集大成となるサークル作品展を開催し、各団体・サークル等の日頃の学習成果を発表する機会とするとともに、市民等へ芸術文化に対する意識の高揚に努めました。

(3) 学びを支える地域人材の育成と活動の促進

市民の多様な学習ニーズに応える社会教育の拠点として、地域の中から選出された社会教育推進員の参画により、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした地域の特性に応じた学級・講座の企画・運営に携わり、地域住民との人間関係づくりや地域課題への思考のきっかけづくりを行いました。

オ 平岡公民館

No.	教育ビジョン の体系	事業名		対象	実施期日	回数等	延べ人数	決算額 (千円)	予算額 (千円)
1	目標2(1) ①市民への 学習機会の 提供と 情報の発信	ホームページ等による情報の 発信		市民等	随時	42回	—		—
2	目標2(2) ①家庭の 教育力 向上の ための 支援	家 庭 教 育 総 合 推 進 事 業	お 子 さ ん と 一 緒 に ！ 健 康 な 心 と 体 づ け り 講 座 (幼 児 家 庭 教 育 学 級)	2 歳 から 就 学 前 の 幼 児 と そ の 保 護 者 25 組	6 月 ～ 12 月	5 回	保 護 者 99 人 幼 児 105 人	26	32
3			小 学 校 家 庭 教 育 学 級	平 岡 小 学 校 児 童 の 保 護 者 20 人 (各 回 募 集)	7 月 ～ 2 月	5 回	35 人	35	45
4	目標2(2) ③地域の 教育力 向上	青 少 年 教 育 推 進 事 業	ひらおか子ども 教室	平 岡 小 学 校 の 児 童 20 人 (各 回 募 集)	6 月 ～ 2 月	6 回	75 人	18	29
5		青 少 年 相 談 員 支 部 活 動		平 岡 支 部 青 少 年 相 談 員 11 人	通 年		11 人	—	—
6		地 区 住 民 会 議 (名 幸 ヶ 丘 の 会) 活 動		平 岡 地 区 各 種 団 体 17 団 体	通 年		15 団 体 等	—	—
7		ひらおかハッピータイム (世 代 間 交 流 事 業)		平 岡 地 区 の 高 齢 者 と 親 子 25 人	8 月 3 日	1 回	10 人	5	8
8	目標2(3) ①誰もが 主体的に 学ぶことが できる 社会教育 活動の 推進	成 人 教 育 推 進 事 業	国 際 理 解 セ ミ ナ ー	市 内 在 住 ・ 在 勤 一 般 成 人 30 人	10 月 ～ 2 月	5 回	55 人	46	61
9			わくわく女性倶楽部	成 人 女 性 50 人	5 月 ～ 2 月	6 回	149 人	31	45
10		高 齢 者 い き が い 促 進 事 業	ひらおかシニアセミ ナー (高 齢 者 教 室)	60 歳 以 上 の 方 50 人	5 月 ～ 1 月	6 回	120 人	19	44
11		み ん な で つ く る 地 域 の 避 難 所 講 座 (地 域 人 材 育 成 講 座)		平 岡 地 区 の 住 民 30 人 (各 回 募 集)	7 月 ～ 2 月	3 回	72 人	97	53
12		各 種 行 事 推 進 事 業	平 岡 公 民 館 文 化 ・ ス ポ ー ツ ま つ り	市 民	10 月 27 (グ ラ ウ ン ド ゴ ル フ 大 会) 11 月 2 日 11 月 3 日	3 日 間	1,897 人	189	201
13	ロビー展示		各 種 団 体 市 内 小 中 学 校	通 年	7 回	160 点	—	—	
14	目標2(3) ②社会教育 関係団体の 活動への 支援	子 ども 会 育 成 会 支 部 活 動		単 位 子 ども 会 2 団 体	通 年		2 団 体	—	—
15		利 用 者 懇 談 会		定 期 利 用 団 体 等	3 月 18 日	1 回	16 人	—	—

No.	教育ビジョン の体系	事業名	対象	実施期日	回数等	延べ人数	決算額 (千円)	予算額 (千円)
16	目標2(3) ③学びを 支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動	社会教育 推進員10人	通年	4回	10人	4	4
17	二十歳を祝う会(平川公民館と共催)		H16.4.2 ～ H17.4.1 に 生まれた平 川地区の二 十歳	1月12日	1回	70人	—	市民会館 で計上
						計	470	522

平岡公民館事業の総括

令和6年度は、各講座及び事業等について、概ね計画どおりに実施することができました。

講座においては、講座生の関心の高いテーマで開催するとともに、参加者同士の交流活動を積極的に実施しました。

令和3年度から「防災」をテーマとして取り組んでいる地域人材育成講座においては、毎年内容をステップアップしてきましたが、本年度は避難所運営の基礎的な事項について学習することができました。このことに加え「防災」に関しては、令和6年1月に発生した能登半島地震を受け、一層関心が高まったことから、成人女性を対象とした講座においても「防災」をテーマに2回続けて開催しました。これらは参加者の関心も高く、多くの方に参加していただくことができました。

また、アフターコロナと言われる中、幼児家庭教育では、子どもたち同士が一緒に遊びを通じて健康な心と体づくりができるよう取り組みました。

しかし、小学校家庭教育学級等、参加者数が伸び悩んでいる講座等もあるため、開催日時や講座内容等を検討するとともに、参加者募集の周知やニーズの把握にも力を入れて取り組んでいきたいと考えます。

事業においては、第17回平岡公民館文化・スポーツまつりで「体験」を重視した多くのイベントを開催し、地域住民等に対して、体験活動を通じた新たな学習の場や交流の場を提供することができました。

さらに、平岡地区に伝わる伝統芸能である「御神楽」の発表を初めてプログラムに取り入れ、三箇太鼓保存会による御神楽の発表を通じ、地域資源の発掘とより多くの方に地域文化を広める機会とすることができました。

このほか、平岡小学校の子どもたちが利用することを特に意識し、「HGK（ひらおか元気キッズ）」プロジェクトを立ち上げ、学習スペースをつくるとともに、遊びながら考えたり、風物的な取組を行うなど公民館らしい居場所作りに取り組みました。

1 一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実

(1) 市民への学習機会の提供と情報の発信

令和6年度は、前年度に実施した講座等のアンケート調査により参加者のニーズを把握するとともに、社会教育推進員と熟考を重ね、新たな学習内容を取り入れて講座を実施しました。

また、企業や近隣市の研究所等、様々な機関の方を講師として講座を実施し、多様な視点や新たな分野の学習機会を提供することができました。特に、ひらおか子ども教室では、包括連携協定を結んだ三井化学株式会社及びアミタホールディングス株式会社によるプラスチックを使った科学工作とプラスチック等の循環型リサイクルについて深く学ぶことができ、また、循環型リサイクルというこれからの時代にマッチした内容であったことから、とても有意義な教室となりました。

さらに、実施した講座の様子をホームページ、館報及び文化・スポーツまつりで紹介し、内容の周知と学習の成果を多くの方に広めることができました。

2 家庭と地域の教育力の向上

(1) 家庭の教育力向上のための支援

子どもの健やかな成長と豊かな人間形成のための学習活動や、保護者同士の交流を目的に、幼児家庭教育学級及び小学校家庭教育学級を開催しました。

幼児家庭教育学級では、講座生の募集において定員を超えた申込があったため、定員を増やして実施し

ました。普段家庭でできないような遊びや想像力を育む遊びなどを厳選して取り入れ、親子遊びを通して子どもの健やかな心と体の成長に繋げる活動や、講座生同士の交流を行いました。

小学校家庭教育学級では、少年期の成長に必要な知識を身に付け子育てに役立てること及び保護者の仲間づくり等を行うことを目的に開催しました。最終回の講座は、ひらおか子ども教室と共催し、千葉県に伝わる太巻き寿司を親子で作りました。2つの講座を合わせて行うことにより親子がふれあいつつ、食育の場ともなり、また伝統文化の継承と郷土愛の育成にも繋がる講座となりました。

今後も、保護者のニーズを分析しながら、多くの参加者が得られるよう、講座の企画や募集方法等について工夫をしていきたいと考えます。

(2) 地域の教育力の向上

平岡小学校の児童を対象に、様々な分野における体験活動を行う「ひらおか子ども教室」を継続して開催しました。世代間交流事業では、平岡地区初の試みでもある「ひらおかの夏祭り」の開催日に合わせて、切り絵を貼る団扇づくりやレクリエーションを行い、地域の賑わいの創出や地域住民の交流を深められるよう取り組みました。地域人材育成講座は、平岡交流センターを避難所とした避難所運営について学習し、地域住民による避難所運営の必要性、そこにある課題、より実践的な避難所運営の方法について理解を深めることができました。

また、地区住民会議及び青少年相談員支部活動に対する活動支援及び平岡小学校等と連携をし、学校行事等の写真をロビーに展示し、地域の方に学校の教育活動の様子を紹介しました。

3 つながり、支えあう社会教育の充実

(1) 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進

令和3年度以降、地域課題の解決にむけた地域人材育成講座「みんなでつくる地域の避難所講座」に取り組んでいますが、令和6年度は、段階的に3回、HUG（避難所運営ゲーム）を実施し、避難所運営に係る学習及び体験活動を行いました。この講座を通して、避難所における課題やその解決方法等について、住民自身が主体的に学習することができましたが、新たな課題も見つけることができました。

また、平岡公民館文化・スポーツまつりにおいては、様々な体験活動等を通し、主催者と参加者や地域住民同士がつながり、新たな交流が生まれる等実りのあるまつりとなりました。

(2) 社会教育関係団体の活動への支援

登録サークルの活動支援として、広報紙や掲示板を通して会員募集の周知を行うとともに、ロビー展示を開催して、活動発表の機会を提供しました。

また、地区住民会議による子どもの見守り活動や、初の開催となったデイキャンプ等の活動支援を行いました。

さらに、青少年相談員事業については、文化・スポーツまつりや新春チャンピオン大会等の活動支援、平川地区の二十歳を祝う会における記念写真スポットの提供等、各行事への活動支援を実施しました。

(3) 学びを支える地域人材の育成と活動の促進

主催講座や文化・スポーツまつりなど、公民館事業の実施にあたっては、社会教育推進員の協力を得な

がら、企画・運営を行い、内容を充実させて実施することができました。

小学校家庭教育学級については、平岡小学校PTAと連携して講座を実施しましたが、今後も両方で協力をしながら、参加者を増やすとともに、ニーズに合わせたより良い学級の開催に向け取り組んでいきたいと考えます。

また、主催講座等において地域住民が活躍できるよう、講師の発掘をするとともに、活動の場の創出についても検討をしていきたいと考えています。

議題（１）令和７年度市民会館・公民館の事業計画について

ア 令和７年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策について

令和７年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策

１ 経営方針

市民会館・公民館は、第三期教育ビジョンの基本目標である「未来を創る 心豊かで いきいきとした 人づくり」の実現に向け、この基本目標の一つである「人生１００年時代に向け、誰もがかがやける学びを支援します」のための取組を行います。また、各種団体との連携をより密にし、市民の主体的な学習活動を支援します。更に、地域における生涯学習の拠点づくり、市民の声を活かした公民館事業の運営及び社会教育の充実・発展を目指します。

２ 重点施策

市民会館・公民館は、基本目標の実現に向けた目標の一つである「人生１００年時代に向け、誰もがかがやける学びを支援します」のための施策の方向性を重点施策とします。

施策の方向性（１）一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実

市民一人ひとりの生涯にわたる主体的な学習活動を支援します。

人生１００年時代に向け、すべての人の学習意欲に応えられるよう、多様な学習機会の提供や、情報発信等の環境整備を行います。

施策① 市民への学習機会の提供と情報の発信

市民の多種多様な学習ニーズに応えるため、市民の代表である公民館運営審議会の意見をもとに適宜、公民館事業の点検評価を行い、その結果を講座等に反映し、様々な学習機会を市民へ提供します。

また、サークル活動を含めた生涯学習情報を収集し、広報そでがうらやホームページ、SNS等で積極的に市民へ情報発信します。更に、市民からの学習相談にもきめ細やかに対応することにより、市民の学習活動を支援し、継続した学習の場を提供します。

施策の方向性（２）家庭と地域の教育力の向上

保護者が抱える子育ての不安や悩みに対応する「家庭教育」に関する学習の機会を提供します。また、地域全体で心豊かな青少年の育成に取り組みます。

施策① 家庭の教育力向上のための支援

保護者を対象に、子育てのヒントとなる学習機会の提供と、同じ世代の子どもを持つ保護者親同士のつながりを深めることを目的に、子どもの世代に応じた家庭教育学級を開催します。

施策② 地域の教育力の向上

心豊かな子どもを育成するため、自然体験や社会体験等の活動や、学年の枠を超えた子どもの交流の場を地域の協力のもと提供します。

また、青少年相談員や地区住民会議等の青少年健全育成活動に取り組む団体、地域住民との連携により、地域の教育力の向上に努めます。

施策の方向性（３）つながり、支えあう社会教育の充実

人と人とのつながりが希薄となりつつある中、社会教育を基盤とした人づくり、つながりづくりが一層重要であると言われています。市民が学びの成果を地域で活かし、人と人がつながり、支えあう活動を支援します。

また、庁内連携の一層の推進と社会教育関係団体との連携により、公民館活動の充実に図ります。

施策① 誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進

住民の学習ニーズや地域課題及び生活上の課題を学習テーマに取り上げ、講座をきっかけに受講者による活動が展開できるよう支援します。

そのため、受講者や利用者等の市民の声を大切に、市民主体の学びの機会を創出します。

また、地域課題や多様で複雑な社会課題等に対し、より効果的に対応するため、袖ヶ浦市みんなが輝く協働のまちづくり条例の趣旨に沿い、住民、社会教育推進員、社会教育関係団体や地域団体等の各種団体、NPO、学校、企業等との幅広い連携・協働を図るほか、庁内関係各課と連携・協力しながら、公民館事業を効果的に実施していきます。

施策② 社会教育関係団体の活動への支援

社会教育関係団体の自主性を尊重しながら、活動の継続性及び活性化に向けた支援と助言を行います。

施策③ 学びを支える地域人材の育成と活動の促進

社会教育推進員の活動支援や、市民の学習ニーズ及び地域課題等を把握の上、学びを支える人材の確保と育成に取り組みます。

令和7年度市民会館・公民館主催事業

基本目標	未来を創る 心豊かで いきいきとした 人づくり
生涯学習の目標	人生100年時代に向け、誰もがかがやける学びを支援します

施策の方向性	施策	事業	市民会館	平川公民館	長浦公民館	根形公民館	平岡公民館
(1)一人ひとりの学びを支える生涯学習の充実	①市民への学習機会の提供と情報の発信		ホームページやSNS等による情報発信				
(2)家庭と地域の教育力の向上	①家庭の教育力向上のための支援	家庭教育総合推進事業	乳幼児家庭教育学級 (平川公民館と合同) 小学校家庭教育学級 中学校家庭教育学級	乳幼児家庭教育学級 (市民会館と合同) 小学校家庭教育学級 中学校家庭教育学級	子育てパパ応援講座 小中学校家庭教育学級	幼児家庭教育学級 小中学校家庭教育学級	お子さんと一緒に！ 健康な心と体づくり講座 小学校家庭教育学級
	②地域の教育力の向上	青少年教育推進事業	子どもチャレンジ教室 世代間交流	子どもクラブ 書き初め教室	わんぱく教室	花まる絵画教室 子ども絵画教室 ねがたオープンキャンパス(ねこまる)	ひらおか子ども教室
(3)つながり、支えあう社会教育の充実	①誰もが主体的に学ぶことができる社会教育活動の推進	成人教育推進事業	女性セミナー 大人のチャレンジ講座 単発講座	単発講座 園芸講座 初心者・シニア向けスマートフォン教室	まるごと体験セミナー ながうら遊学塾 お正月飾りづくり講習会	成人絵画教室 地域再発見講座	わくわく女性倶楽部 国際理解セミナー ひらおかハッピータイム
		高齢者いきがい促進事業	昭和ふれあい教室	平川生活いきいき講座 おでかけ高齢者講座	長浦さわやかスクール	根形ニコニコ教室	ひらおかシニアセミナー
		地域人材育成講座 (テーマ)	地域理解	災害「避難」を学ぶ講座	地域デビュー	防災	みんなでつくる地域の避難所
		各館で講座を開催するほか、その検証等を行う担当者ミーティングを各館の連携により開催する。					
	②社会教育関係団体の活動への支援	各種行事推進事業	市民会館まつり 市民音楽フェスティバル 芸能文化まつり	公民館まつり	公民館まつり	公民館まつり ねがたファミリーコンサート 書き初め教室 サークル作品展	文化・スポーツまつり
			ロビー展示				
			利用者懇談会				
	③学びを支える地域人材の育成と活動の促進		社会教育推進員活動				

ウ 市民会館・公民館事業計画

(ア) 令和7年度市民会館事業計画

◎各種団体など多様な主体との連携により、昭和地区の学習拠点、活動拠点として住民に親しまれる施設を目指します。また、定期利用団体の活動を持続可能なものとするための助言、支援を行います。

(千円)

No.	教育ビジョンの体系	事業名		目的・内容	令和7年度 時期・回数	対象・人数	予算額
1	目標2(1) ①市民への 学習機会 の提供と 情報の発信	ホームページ等による情報の 発信		生涯学習情報及び公民館事業 について、ホームページ等を活用 した情報の発信を行います。	随時	—	—
2	目標2(2) ①家庭の 教育力 向上の ための 支援	家庭教育 総合推進 事業	乳幼児家庭教育学 級(うたたねハッ ピーくらぶ)(市民 会館と合同)	幼児期における家庭の役割や家 庭教育について学習し、地域ぐる みの子育てを進めます。	6月～12月 (全7回)	0歳から就 学前の幼児 を持つ保護 者20人	市民会館44 平川公民館10
3			小学校家庭教育 学級	小学校期における子どもの成長 の場としての家庭や地域の役割を 理解し、子育てや家庭教育につい て知識や手法を学びます。	7月～12月 (全4回)	昭和地区の 小学生の保 護者(各回 募集)	17
4			中学校家庭教育 学級	中学校期の子どもの対する家庭・ 地域の役割について、保護者を対 象に学習します。	7月～12月 (全4回)	昭和中学校 生徒の保護 者(各回募集)	37
5	目標2(2) ③地域の 教育力 向上	青少年教育推進事 業	子どもチャレンジ 教室	創作活動や自然体験などを通 じ、仲間づくりや自立心及び協調 性を育みます。	5月～1月 (全8回)	昭和地区の 小学校4年 ～6年生 (各回募集)	35
6		青少年相談員支部活動		青少年の健全な育成を推進する ため、青少年相談員の支部活動を 支援します。	通年	昭和支部青 少年相談員 14人	—
7		地区住民会議(坂戸の森みどりの 会)活動		各種団体との協働により、青少年 の健全育成を地域をあげて推進す るための活動を支援します。	通年	昭和地区各 種団体22団 体等	—
8		世代間交流事業		地域住民の世代を超えた交流を 図るため、自然素材を使ったクリ スマスリースづくりとお正月お飾り づくりを実施します。	11月 1回(全1回)	昭和地区の 小・中学生 とその家族	—
9	目標2(3) ①誰もが 主体的に 学ぶことが できる 社会教育 活動の 推進	成人教育 推進事業	女性セミナー	社会的課題や身近な生活課題を 取り上げ、女性の社会参加と生き 方を考えるとともに、仲間づくりを 図ります。	5月～12月 (全7回)	昭和地区成 人女性40人	27
10			大人のチャレンジ 講座	性別を問わず、様々な興味・関心 のある事柄に対し、チャレンジを していく中での取組を通じて、豊かに 生活を送るための知識や仲間を得 ることを目指します。	10月～12月 (全3回)	市内在住・ 在勤の成人 20人	16
11			単発講座	地域の仲間づくり、住民自治意識 の向上のきっかけの場を提供する とともに、身近な課題解決のテーマ を取り上げて実施します。	12月 1回(全1回)	昭和地区の 成人50人	6
12		高齢者x いきがい 促進事業	昭和ふれあい教室 (高齢者教室)	高齢者が健康で充実した生活が 送ることができるよう、学習や交流 活動を通じて、生きがいづくりと仲 間づくりを行います。	5月～12月 (全8回)	昭和地区の 60歳以上の 方120人	32
13		地域人材育成講座 (親子ウォーキング)		学習(講座)を通じて、受講者が 暮らす地域や生活を見つめ直し、 受講生の自主活動へつなげます。	10月 1回(全1回)	昭和地区の 小学生とそ の家族 25 組	5
14		各種行事 推進事業	市民会館まつり (文化協会後援)	地域住民が郷土の文化芸術に親 しむ機会とするとともに、定期利用 者などの学習成果の発表の場と し、地域の交流を図ります。	11月1日 11月2日 (2日間)	市民	235

No.	教育ビジョン の体系	事業名		目的・内容	令和7年度 時期・回数	対象・人数	予算額
15	目標2(3) ②社会教育 関係団体の 活動への 支援	各種行事 推進事業	ロビー展示	グループ・サークル等が日頃の学習成果を発表し、市民が芸術作品に親しむ場とします。	通年	各種団体 サークル等	—
16			市民音楽フェスティバル(音楽協会と共催)	市内のアマチュア音楽グループ・サークルの交流を深めるとともに、市民が多様な音楽を親しめる場を提供します。	11月23日	市民	210
17			芸能文化まつり(文化協会と共催)	芸能文化活動の普及並びに、芸能文化の交流を通して市民の親睦を深め、豊かな情操を培います。	1月25日	市民	36
18		子ども会育成会支部活動		子ども会の自主性を尊重しながら支部活動を援助します。	通年	単位子ども 会4団体	—
19		利用者懇談会		定期利用団体を中心に、市民会館の事業運営について理解を求めるとともに、サークル活動の意義について考える機会とします。	3月 (1回)	定期利用団 体	—
20	目標2(3) ③学びを 支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動		社会教育の推進を図るため、地域住民の代表として、公民館事業の企画及び運営を、職員とともに行います。	通年	社会教育推 進員 10人	4
21	二十歳を祝う会			二十歳となったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励まします。	1月11日	H17.4.2～ H18.4.1に 生まれた 昭和地区の 二十歳	586
22	公民館運営審議会			社会教育法第29条に基づき、公民館における各種の事業の企画、実施についての調査審議を行います。	5月～2月 (全5回)	委員12人	468
						計	1,758

(イ) 令和7年度平川公民館事業計画

◎平川地区の地域コミュニティ・生涯学習の拠点として、実生活に即した教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、地域住民の教養の向上、健康の増進等を図り、もって、地域の生活・文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目指します。

(千円)

No.	教育ビジョンの体系	事業名	目的・内容	令和7年度 時期・回数	対象・人数	予算額
1	目標2(1) ①市民への 学習機会の 提供と 情報の発信	ホームページ等による情報の 発信	生涯学習情報及び公民館事業に ついて、ホームページ、フェイス ブック等を活用した情報の発信を 行います。	随時	—	—
2	目標2(2) ①家庭の 教育力 向上の ための 支援	乳幼児家庭教育学 級(うたたねハッ ピーくらぶ)(市民会 館と合同)	幼児期における家庭の役割や家 庭教育について学習し、地域ぐる みの子育てを進めます。	6月～12月 (全7回)	0歳から就学 前の幼児を持 つ保護者 20人	10
3		小学校家庭教育 学級	健全な子どもを育てるための家庭 や地域の役割を学習し、地域ぐる みの子育てを進めます。	4月～1月 (全5回)	中川小学校 児童の保護 者(各回募集)	17
4		中学校家庭教育 学級	中学校期の成長の場として、家 庭・学校さらに地域があり、その役 割を認識し、健全な中学生の育成 に努めます。	4月～1月 (全5回)	平川中学校 生徒の保護 者(各回募集)	17
5	目標2(2) ③地域の 教育力 向上	青少年教育推進事 業	子どもクラブ	6月～1月 (全5回)	中富地区の 小学生(各回 募集)	31
6			書き初め教室	12月 (全1回)	中川小学校 3～6年生 20人	6
7		青少年相談員支部活動	青少年の健全な育成を推進する ため、青少年相談員の地区活動を 支援します。	通年	中富地区青 少年相談員 10人	—
8		地区住民会議(中富ふれあいの会)活動	青少年育成袖ヶ浦市民会議の下 部組織として地区住民会議を組織 し、青少年育成事業活動を支援し ます。	通年	中富地区各 種団体15団 体	—
9	目標2(3) ①誰もが 主体的に 学ぶこと ができる 社会教育 活動の 推進	成人教育推進事業	初心者・シニア向け スマートフォン教室	5月～1月 (全5回)	市民 各20人	34
10			園芸講座	5月～2月 (全8回)	市内在住・ 在勤の成人 25人	66
11			単発講座	未定 (全2回)	市民	27
12		高齢者 いきがい 促進事業	平川生活いきいき 講座 (高齢者講座)	6月～2月 (全7回)	主に鹿島・ 中富地区の 60歳以上 の方30人	29
13			ご近所高齢者講座	5月～2月 (全2回)	中富地区の 60歳以上 の方 延べ20人	10

No.	教育ビジョンの体系	事業名		目的・内容	令和7年度 時期・回数	対象・人数	予算額
14	目標2(3) ①誰もが主体的に 学ぶことができる 社会教育 活動の 推進	災害「避難」を学ぶ講座 (地域人材育成講座)		いつ訪れるかわからない災害時の避難生活を見すえて、各々がどうしたらよいか、何ができるかを学び、災害時に避難所生活を余儀なくされた場合、自主的に周囲と協力し合いながら避難所運営に携わることができる人材育成と地域の連帯感の醸成を目指します。	6月～2月 (全5回)	市民(中富 地区優先) 20人	30
15			平川公民館まつり	団体活動や主催事業の学習成果を発表する機会とするとともに、模擬店等各種イベントにより地域住民の交流の場とします。	11月15日 11月16日 (2日間)	市民	153
16	目標2(3) ②社会教育 関係団体の 活動への 支援	各種行事 推進事業	ロビー展示・ ロビーワーク	各種団体・サークルの学習成果を発表する場とし、併せて市民が芸術作品に親しむ機会をします。 また、季節ごとにロビーイベントやディスプレイを行い、地域住民の交流を図り、公民館と地域の活性化を図ります。	通年	各種団体等	—
17		利用者懇談会		登録サークル・定期利用団体を対象に公民館の管理・運営について協力を促すとともに、活動の活性化を図りサークルの育成に努めます。	3月 1回	登録サークル・定期利用 団体	—
18	目標2(3) ③学びを支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動		社会教育の推進を図るため、地域住民の代表として、公民館事業の企画及び運営を、職員とともに行います。	通年	社会教育 推進員10人	4
19	二十歳を祝う会(平岡公民館と共催)			二十歳となったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励まします。	1月11日	H17.4.2 H18.4.1に 生まれた 平川地区の 二十歳	市民会館 で計上
						計	434

(ウ)令和7年度長浦公民館事業計画

“温もりと喜びが集う公民館”人と人が交流する中で温もりを感じるとともに、学ぶ喜びや創造する喜びを共有し、ワクワクしながら集う地域コミュニティーの核となる公民館をめざします。

(千円)

No.	教育ビジョン の体系	事業名		目的・内容	令和7年度 時期・回数	対象・人数	予算額
1	目標2(1) ①市民への 学習機会の 提供と 情報の発信	ホームページ等による情報の 発信		生涯学習情報及び公民館事業につ いて、ホームページ等を活用した情報 の発信を行います。	随時	—	—
2	目標2(2) ①家庭の 教育力 向上の ための 支援	家庭教育 総合推進 事業	子育てパパ応援 講座	「子育てに臨む父親」を対象として、 父親同士の交流や親子での体験等を 通じて子育てについて学び理解する場 を設け、家庭教育につなげます。	7月～12月 (全4回)	2歳から 就学前の 幼児と父 親 20組	27
3			小中学校家庭教育 学級	子どもの成長の場としての家庭の役 割を認識し、家庭教育の原理・手法の 習得を図り、家庭の教育力向上を支援 します。	7月～1月 (市内合同2 回、4校合同 4回)	長浦・蔵波地 区の小中 学 生を持つ保 護者 (各回募集)	25
4	目標2(2) ③地域の 教育力 向上	青少年 教育推進 事業	わんぱく教室	小学生を対象として、異なる学校・学 年の子ども達の交流や遊び、移動教 室、スポーツなどの様々な体験の場を 提供します。	5月～1月 (全7回)	長 浦 小・蔵 波小の 4～6年生 30人	30
5		青少年相談員支部活動		青少年の健全育成を推進するため、 青少年相談員の支部活動を支援しま す。	通年	長浦支部青 少年相談員 22人	—
6		長浦地区住民会議(ながうら 青空の会)活動		各種団体との協働により、青少年の健 全育成を地域をあげて推進するための 活動を支援します。	通年	長浦地区 各種団体 24団体	—
7	目標2(3)① 誰もが主 体的に学 ぶこと ができる 社会教育 活動の 推進	成人教育 推進事業	まるごと体験 セミナー	郷土料理づくりを通して受講生相互 の交流を図るとともに、地域に伝わる食 文化について学びます。	7月～10月 (全4回)	成人(長浦 地区優先) 15人	32
8			ながうら遊学塾	趣味・教養・実学など日常生活に即し て幅広く学習します。	5月～1月 (全6回)	成人(長浦 地区優先) 50人	44
9			お正月飾りづくり 講習会	お飾りを飾って新年を迎える日本の 伝統行事を大切にするため、お正月飾 りの作り方を学びます。	12月 (全1回)	成人25人	12
10		高齢者 いきがい 促進事業	長浦さわやか スクール (高齢者教室)	健康で明るい高齢期を過ごすため に、心と身体の健康や地域社会での役 割等に関する学習、地域の交流活動 を行います。	5月～12月 (全6回)	長浦地区の 60歳以上の 方250人	43
11		地域人材育成講座		サブテーマを「地域デビュー講座」と し、自分が暮らす地域に愛着を持ち、 地域とのつながりを持ちたいと考えて いる方へのきっかけづくりを目的と します。	6月～11月 (全5回)	高校生～25 歳までの方 15人	4
12		各種行事 推進事業	長浦公民館まつり	登録サークル等の日ごろの学習成果 の発表の場を設けます。また、まつり を通じて地域住民の楽しい交流を図 ります。	11月15日 11月16日 (2日間)	市民	234

No.	教育ビジョン の体系	事業名		目的・内容	令和7年度 時期・回数	対象・人数	予算額
13	目標2(3) ②社会教育 関係団体の 活動への 支援	各種行事 推進事業	ロビー展示	各種文化活動団体・サークル等の活動成果の発表の場とするとともに、芸術文化に対する理解と認識を深めます。	通年	各種団体、 サークル	—
14		利用者懇談会		定期的に利用する団体及びサークルを中心に、館の経営方針、事業運営に理解を促すとともに団体活動の活性化を図ります。	3月 1回	各種団体、 サークル	—
15	目標2(3) ③学びを 支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動		社会教育の推進を図るため、地域住民の代表として、公民館事業の企画及び運営を、職員とともに行います。	通年	社会教育 推進員10人	4
16	二十歳を祝う会			二十歳となったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励まします。	1月11日	H17.4.2 ～ H18.4.1に 生まれた 長浦・蔵波 地区の 二十歳	市民会館 で計上
						計	455

(エ) 令和7年度根形公民館事業計画

◎ホームページなどの情報発信の工夫に努め、根形地区の学習拠点として多くの住民に利用される施設を目指します。また、各種団体など多様な主体との連携・協働により、青少年健全育成や芸術文化の振興活動を支援します。

(千円)

No.	教育ビジョン の体系	事業名		目的・内容	令和7年度 時期・回数	対象・人数	予算額
1	目標2(1) ①市民への 学習機会 の提供と 情報の発信	ホームページ等による情報の 発信		生涯学習情報及び公民館事業 について、ホームページ等を活用し た情報の発信を行います。	随時	—	—
2	目標2(2) ①家庭の 教育力 向上の ための 支援	家庭教育 総合推進 事業	幼児家庭教育学級	幼児の子を持つ親が、心身ともに 健康でいられるよう親子同士の触れ 合いを通して、子育ての悩みなどを 相談し合える場を提供します。	9月～10月 (全2回)	2歳から就学前 の子を持つ保 護者	25
3			小中学校家庭教育 学級	小中学校期における家庭、地域 の役割や家庭教育のあり方・手法を 学習することを目的として実施しま す。	6月～12月 (全5回)	根形小児童・根 形中学生の保 護者(各回募 集)	29
4	目標2(2) ③地域の 教育力 向上	青少年 教育推進事 業	花まる絵画教室	創造性や情緒豊かな人間性を養 うことを目指して、水彩画に親しむ ための基礎学習と学校外での友達 づくりを行います。	6月～12月 (全6回)	市内小学 1～3年生 16人	39
5			子ども絵画教室	水彩画を中心とした学習をととし て、豊かな感性を培うとともに、学校 外での友達づくりを行います。	5月～1月 (全9回)	市内小学 4～6年生 16人	55
6			ねがたオープン キャンパス (ねこまる)	根形小の児童を対象に、地域の 若者(N.O.C)と企画・運営し、勉強 や体験活動をととして、子どもか ら、N.O.C、サークルや地区住民会 議等の地域の大人も交えた“多世 代交流の場”を目指します。	7月24日 7月25日 8月9日 8月23日	根形小児童 、根形地区の 青少年、 登録サークル 会員、青少年 相談員等 (各回募集)	23
7			青少年相談員支部活動		青少年の健全育成を推進するた め、青少年相談員根形支部の活動 を支援します。	通年	根形支部 青少年相談員 8人
8		地区住民会議(根っ子の会) 活動		根形地区の青少年健全育成を目 的として、地域全体として参加でき る事業活動を支援します。	通年	根形地区の 各種団体等 20団体	—
9	目標2(3) ①誰もが 主体的に 学ぶことが できる 社会教育 活動の 推進	成人教育 推進事業	成人絵画教室	大人の初心者を対象に、油絵、水 彩画等の基本的な知識・技術の習 得を図ります。	5月～2月 (全10回)	市内在住・在勤 成人15人	69
10			地域再発見講座	地域に残された資料や野外活動 をととして、地域の成り立ちや時代 背景などを学習し、地域の再発見 に努めます。	6月～1月 (全7回)	市内在住・在勤 成人20人	30

No.	教育ビジョン の体系	事業名		目的・内容	令和7年度 時期・回数	対象・人数	予算額
11	目標2(3) ①誰もが 主体的に 学ぶことが できる 社会教育 活動の 推進	高齢者 いきがい 促進事業	根形ニコニコ教室 (高齢者教室)	地域の高齢者が健康で充実した生活を送ることができるよう、学習や体験・交流活動を通して、一人ひとりの生きがいを促進するとともに、仲間づくりを行います。	5月～2月 (全10回)	根形地区の60歳以上の男女60人	55
12		地域人材育成講座		地域の課題について学ぶ機会を提供するとともに、課題解決に向けた人材発掘・育成に努めます。 ①防災講演会(根形小学校) 避難訓練とタイアップし、若い世代への地域防災教育を行います。 ②避難所に係る講演及び避難所体験(根形中学校) 地域で防災に取り組む人材育成を目指します。 ③総合防災訓練 ④地域の防災組織育成等に向けた企画	①9月3日 ②10月上旬 ③9月21日 ④2月(未定)	①根形地区住民、PTA、根形小児童 ②根形地区住民、PTA、根形中学生 ③④根形地区住民	65
13			根形公民館まつり	郷土の文化に親しみながら教養を高め、創造力を培う場とするとともに、講座生、利用者等の学習成果発表の場とします。また、各種催しを通して、幼児から高齢者が集う世代間交流の場とします。	11月1日 11月2日 (2日間)	市民	321
14			ねがたファミリーコンサート	子どもから高齢者まで幅広い世代にプロの奏でる演奏を間近に触れ、音楽に親しむとともに豊かな心を育む機会とします。	8月2日	根形ニコニコ教室生、根形地区の親子等	60
15	目標2(3) ②社会教育 関係団体の 活動への 支援	各種行事 推進事業	ロビー展示	各種団体の日頃の学習成果を発表する場を提供するとともに、主催講座の成果を発表する機会とします。	通年	各種団体他	—
16			根形公民館 サークル作品展	根形公民館で活動する芸術関係のサークル等の創作活動の成果を発表する場とするとともに、参加者相互の交流を促します。	3月15日～ 3月23日 (9日間)	根形公民館で活動する美術・工芸関係サークル等	15
17			書初め教室	学校の冬休み期間中に、根形公民館の書道サークルを講師とした児童生徒への書初め教室を通じて、学習成果の還元と地域の世代間交流を図ります。	12月下旬	根形公民館登録サークル	5
18		利用者懇談会		定期利用団体を対象に、公民館の事業運営とサークル活動について理解を促し、活動の活性化とサークルの育成に努めます。	3月 1回	定期利用団体	—
19	目標2(3) ③学びを支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動		社会教育の推進を図るため、地域住民の代表として、公民館事業の企画及び運営を、職員とともにを行います。	通年 (会議4回 研修会1回)	社会教育推進員10人	4
20	二十歳を祝う会			二十歳となったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励まします。	1月11日	H17.4.2 H18.4.1に 生まれた 根形地区の 二十歳	市民会館 で計上
						計	795

(オ) 令和7年度平岡公民館事業計画

◎地域住民の学習ニーズや地域の実情に応じ、様々な学習機会や世代間交流の場を提供するとともに、活力ある地域づくりを目指す拠点として、各種事業を展開していきます。

(千円)

No.	教育ビジョンの体系	事業名		目的・内容	令和7年度 時期・回数	対象・人数	予算額
1	目標2(1) ①市民への 学習機会の 提供と 情報の発信	ホームページ等による情報の 発信		生涯学習情報及び公民館事業 について、ホームページ等を活用 した情報の発信を行います。	随時	—	—
2	目標2(2) ①家庭の 教育力 向上の ための 支援	家庭教育 総合推進 事業	お子さんと一緒に！ 健康な心と体づくり講座(幼児家庭教育学級)	2歳から就学前の幼児と保護 者を対象に、子どもの健康な心 と体づくりについて学習し、交 流を図るための事業を実施しま す。	6月～12月 5回	2歳から 就学前の 幼児と 保護者 25組	32
3			小学校家庭教育学級	小学生を持つ保護者を対象 に、少年期の成長に必要な家庭 教育について学習するとともに 、交流を図るための事業を実施 します。	7月～1月 5回	平岡小学校児 童の保護者20 人・ (各回募集)	45
4	目標2(2) ③地域の 教育力 向上	青少年 教育推進事 業	ひらおか子ども教室	自然科学等様々な分野におい て子どもたちが興味や関心が持 てるよう、多様な体験の場を提 供し、楽しく学習します。	6月～2月 6回	平岡小学校児 童20人 (各回募集)	29
5		青少年相談員支部活動		青少年の健全育成を推進するた め、青少年相談員の支部活動を支 援します。	通年	平岡支部 青少年 相談員 11人	—
6		地区住民会議(名幸ヶ丘の会) 活動		家庭、学校、地域社会が一体とな り、地域に密着した実践活動を通 して青少年の健全育成を図るため の活動を支援します。	通年	平岡地区 各種団体 14団体等	—
7		ひらおかハッピータイム (世代間交流事業)		世代間の交流を図るための事 業を実施します。	1回	平岡地区の子 どもから 大人まで 25人	8
8	目標2(3) ①誰もが 主体的に 学ぶことが できる 社会教育 活動の 推進	成人教育 推進事業	国際理解セミナー	国際化が進むなかで、世界各 国の現状を学習し、国際理解を 深めます。	9月～1月 5回	成人一般 30人	61
9			わくわく女性倶楽部	充実した日常生活を実現する ために、幅広い分野について学 習するとともに、講座生相互の 交流の場とします。	5月～2月 6回	成人女性 40人	46
10		高齢者 いきがい 促進事業	ひらおかシニアセミ ナー(高齢者教室)	健康で潤いのある生活を目指 し、運動や健康講座を通じて仲 間づくりをします。	5月～1月 6回	60歳以上 40人	36
11		みんなでつくる地域の避難所 講座(地域人材育成講座)		災害時において「地域は自分 たちで守る」という、自助・共 助の意識を高めるとともに、よ り安心・安全な避難生活を送る ことができるよう、「みんなで つくる地域の避難所」をテーマ に体験学習等を行います。	7月～11月 3回	平岡地区 住民30人 (各回募集)	54
12		各種行事 推進事業	平岡公民館文化・ スポーツまつり		地域住民が文化、スポーツに触 れ親しみ、豊かな情操と創造力 を養う場とともに、公民館利用 者の学習成果を発表する場とし ます。また、各種催し物を通じて、 地域住民相互の交流の機会を提供 します。	11月1日 11月2日 (2日間) ※グラウンド ゴルフ大会は 調整中	市民

No.	教育ビジョン の体系	事業名		目的・内容	令和7年度 時期・回数	対象・人数	予算額	
13	目標2(3) ②社会教育 関係団体の 活動への 支援	各種行事 推進事業	ロビー展示	各種団体等の作品発表の場とす るとともに、地域住民が芸術や文化 作品に触れる機会を提供します。	通年	各種団体 平岡小学校 平川中学校	—	
14		デイキャンプ		協働作業やレクリエーションを通 じ、連帯感を深め、自立心、忍耐力 などを向上させ、たくましい心と身 体を育みます。	6月29日	平岡小学校 の児童	—	
15		利用者懇談会		定期利用団体等を対象に、公民 館の事業運営についての理解を深 めるとともに、サークルの活性化と 育成に努めます。	3月 (全1回)	定期利用 団体等	—	
16	目標2(3) ③学びを 支える 地域人材の 育成と 活動の促進	社会教育推進員活動		社会教育の推進を図るため、地 域住民の代表として、公民館事業 の企画及び運営を、職員とともに行 います。	通年	社会教育 推進員 10人	—	
17	二十歳を祝う会(平川公民館と共催)			二十歳となったことを自覚し、自ら 生き抜こうとする青年を祝い、励ま します。	1月11日	H17.4.2～ H18.4.1に 生まれた 平川地区の 二十歳	市民会館 で計上	
							計	514

議題（２）令和７年度袖ヶ浦市公民館運営審議会の年間計画について

回	日 時	内 容	会 場
1	5月16日 (金) 15時～	① 令和6年度市民会館・公民館事業の実施結果について ② 令和7年度市民会館・公民館の事業計画について ③ 令和7年度袖ヶ浦市公民館運営審議会の年間計画について 他	根形交流センター 2階視聴覚室
2	7月11日 (金) 15時～	① 令和7年度市民会館・公民館事業の実施状況について ② 青少年健全育成地区住民会議令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画について 他	昭和交流センター 3階中ホール
3	10月9日 (木) 15時～	① 令和7年度市民会館・公民館まつりに ついて ② 令和7年度市民会館・公民館事業の実 施状況について 他	平岡交流センター 2階視聴覚室
4	12月18日 (木) 15時～	① 令和7年度市民会館・公民館まつりの 実施結果について ② 令和8年袖ヶ浦市二十歳を祝う会の 取組状況について ③ 令和7年度市民会館・公民館事業の実 施状況について 他	平川交流センター 2階視聴覚室
5	2月6日 (金) 15時～	① 令和8年袖ヶ浦市二十歳を祝う会の 実施結果について ② 令和7年度市民会館・公民館事業の成 果と課題について ③ 令和8年度市民会館・公民館経営方針 及び重点施策（案）について 他	長浦交流センター 2階研修室

※各種行事等に係る実行委員及び委員の選出については、適宜、審議等を
いただく予定です。

【その他行事】

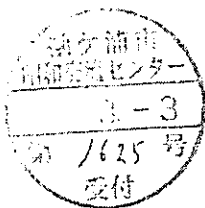
- ◇ 6月20日（金） 君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会総会
（君津市周西公民館）
※同日、理事会があり、終了後総会となります。
- ◇ 7月 5日（土） 袖ヶ浦市青少年健全育成推進大会（市民会館）
- ◇ 11月 1日（土） 市民会館まつり・公民館まつり（根形・平岡）
～2日（日）
- ◇ 11月15日（土） 公民館まつり（平川・長浦）
～16日（日）
- ◇ 1月11日（日） 袖ヶ浦市二十歳を祝う会
- ◇ 2月14日（土） 袖ヶ浦市生涯学習推進大会（市民会館）
- ◇ 日程未定 君公連・君公運審連合同研修会

議題（３）その他

ア 令和７年度青少年育成袖ヶ浦市民会議理事の推薦について

令和７年３月３日付青育市第４２号（３９～４１ページ参照）にて、青少年育成袖ヶ浦市民会議会長より別紙のとおり当該会議の理事について継続確認の依頼がありました。

確認に対する回答期限が４月３０日であったため、委員長と相談の上、現理事が継続する旨回答しました。



青 育 市 第 4 2 号
令 和 7 年 3 月 3 日

公民館運営審議会
委員長 篠原 和行 様

青少年育成袖ヶ浦市民会議
会 長 田 中 雪 夫



令和7年度青少年育成袖ヶ浦市民会議の理事について（依頼）
早春の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より、青少年の健全育成にご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、貴団体に加入していただいている青少年育成袖ヶ浦市民会議については、「青少年育成袖ヶ浦市民会議規約」第8条第2項により、各関係団体から推薦された方に理事を務めていただくこととなっております。

現理事の任期は令和6年度・令和7年度ですが、所属団体内での役職替え等により、理事を継続できない場合、後任の方の推薦をお願いします。

なお、継続して理事を務めていただける場合においても、別紙報告書を提出くださるようお願いいたします。

記

1. 提出書類 令和7年度理事継続報告書及び後任推薦書 1枚
2. 提出期限 令和7年4月30日（水）
※提出期限を過ぎる場合は、担当までご一報ください。
3. 提出先及び
問合せ先 袖ヶ浦市教育委員会生涯学習課 白石
〒299-0292 袖ヶ浦市坂戸市場1-1 TEL0438-62-3743
Email sode30@city.sodegaura.chiba.jp
4. 理事会日程 青少年育成袖ヶ浦市民会議第1回理事会については、下記の日程で開催を予定しております。推薦いただいた理事へは別途通知いたしますが、予めご承知おきください。

日時：令和7年5月19日（月）午後3時30分から 会場：袖ヶ浦市役所 会議室3-2（北庁舎3階）

青少年育成袖ヶ浦市民会議規約

(名称)

第1条 この会議は青少年育成袖ヶ浦市民会議と称する。

(事務局)

第2条 この会議の事務局は袖ヶ浦市生涯学習課内に置く。

(目的)

第3条 この会議は青少年問題のもつ重要性にかんがみ広く住民の総意を結集し行政の施策に呼応して、次代をになう青少年の健全な育成を図ることを目的とする。

(事業)

第4条 この会議は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 青少年育成市民運動の総合企画
- (2) 青少年育成のための市民意識高揚の活動
- (3) 青少年の健全育成、非行防止のための活動
- (4) 青少年健全育成関係団体との連携、協力
- (5) その他、この会議の目的を達成するために必要な事業

(組織)

第5条 この会議は、会議の趣旨に賛同する個人及び団体をもって構成する。

第6条 この会議に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理事 30名以内
- (4) 会計 1名
- (5) 監事 2名

(役員の職務)

第7条 会長は、この会の業務を総括し、この会議を代表する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、会長があらかじめ指名した順序にしたがってその職務を代行する。
- 3 理事会は、本会議の企画ならびに運営にあたる。
- 4 会計は、この会議の経理を担当する。
- 5 監事は、会計及び業務執行の状況を監査し、その結果を理事会に報告する。

(役員の選任)

第8条 会長、副会長は理事会において互選し決定する。

- 2 理事は各関係団体から推薦された者をもって充てる。
- 3 監事、会計は理事会の承認を得て会長が委嘱する。

(役員の任期等)

第9条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

- 2 補欠による役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 役員は任期が満了した場合後においても後任者が就任するまでのその職務を行う。

(顧問)

第10条 この会議に顧問を置くことができる。

2 顧問は、理事会の承認を得て会長が委嘱する。

3 顧問は、会長の諮問に応じる。

(地区住民会議)

第11条 本事業を実施遂行するために市民会館並びに各公民館毎に地区住民会議を置く。

2 地区住民会議について必要な規約は、各地区毎に定める。

(会議)

第12条 会議は理事会とする。

2 理事会は、この会議の通常の業務を掌理し、運営にあたる。

3 理事会は、毎年1回以上会長が招集し、会長が議長を務める。

4 理事会は、次の事項を議決する。

(1) 事業計画及び予算

(2) 事業報告及び決算

(3) その他理事会において必要と認めた事項

(表決)

第13条 理事会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(経費)

第14条 この会議の経費は、会費、賛助会費、補助金及び寄付金等をもってあてる。

(会計年度)

第15条 この会議の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(賛助会員)

第16条 この会議の目的に賛同し、特別な援助をする法人等は、賛助会員となることができる。

(解散)

第17条 この会議は、出席者の4分の3以上の同意を得て解散することができる。

(補則)

第18条 この規約の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て会長が定める。

附 則

この規約は、昭和53年12月8日から施行する。

附 則

この規約は、平成10年6月8日から施行する。

附 則

この規約は、平成12年6月15日から施行する。

附 則

この規約は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成14年6月28日から施行する。

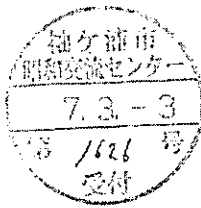
附 則

この規約は、平成29年2月10日から施行する。

イ 令和7年度青少年健全育成推進大会実行委員の推薦について

令和7年3月3日付青育市第43号（43～45ページ参照）にて、青少年育成袖ヶ浦市民会議会長より別紙のとおり当該大会実行委員の推薦依頼がありました。

推薦書の提出期限が4月8日であったため、委員長と相談の上、推薦しました。



青 育 市 第 4 3 号
令和 7 年 3 月 3 日

公民館運営審議会
委員長 篠原 和行 様

青少年育成袖ヶ浦市民会議
会 長 田 中 雪 夫

令和 7 年度袖ヶ浦市青少年健全育成推進大会実行委員の推薦に
ついて (依頼)

早春の候、貴職におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より、青少年の健全育成にご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、令和 7 年 7 月 5 日 (土) 青少年健全育成推進大会については実行委員
制で運営することとなりました。

つきましては、貴団体からの推薦者について、別紙「実行委員推薦書」によ
り推薦していただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. 提出書類 実行委員推薦書 1 枚
2. 提出期限 令和 7 年 4 月 8 日 (火)
3. 第 1 回袖ヶ浦市青少年健全育成推進大会実行委員会議日程
以下の日程で開催を予定しております。
推薦いただいた実行委員には別途通知いたします。
予めご承知おきください。

日時：令和 7 年 4 月 2 5 日 (金) 午後 7 時から

会場：袖ヶ浦市役所 会議室 3-2 (北庁舎 3 階)

【提出先・連絡先】

袖ヶ浦市教育委員会生涯学習課 白石

〒299-0292 袖ヶ浦市坂戸市場 1-1

電話：0438-62-3743 (直通)

E-mail：sode30@city.sodegaura.chiba.jp

実行委員の推薦について

I 実行委員の構成

市民会議構成団体(地区住民会議を除く)から実行委員を選出して大会を運営する。
(令和6年度第2回青少年育成袖ヶ浦市民会議理事会にて決定)

II 令和7年度袖ヶ浦市青少年健全育成推進大会実施要項(案)

1. 趣旨

次代の担い手である青少年の健全育成が、真にその成果を発揮するためには、地域における住民の日常的な育成活動が活発に行われることが必要である。このため、青少年関係機関、団体等の関係者をはじめ一般市民の参加を求めて、青少年健全育成推進大会を開催し、市民各層の青少年育成運動に対する理解と自覚と積極的参加を促進しようとするものである。

2. 主催 青少年育成袖ヶ浦市民会議／青少年健全育成推進大会実行委員会

3. 主管 袖ヶ浦市教育委員会

4. 日時 令和7年7月5日(土) 13時から

5. 会場 市民会館大ホール

6. 参加対象 (1) 関係委員、団体
(2) その他、本大会の趣旨に賛同する市民

7. 大会次第

受付	12:30～13:00
(1) 開会式	13:00～13:30
①開式の言葉	
②主催者挨拶	
③袖ヶ浦市青少年育成者感謝状贈呈	
④来賓祝辞	
⑤閉式の言葉	
(2) 市民会議会員募集	13:30～13:35
(3) 実践発表	13:35～14:10
①未定	(13:35～13:50)
場面転換	(13:50～13:55)
②未定	(13:55～14:10)
(4) 大会宣言 -袖ヶ浦市子育ての提言-	14:10～14:20
(5) 休憩・市民三学大学講座入場	14:20～14:30
(6) 記念講演(第1回市民三学大学講座)	14:30～16:00
講師 < 未定 >	
(7) 大会閉会の言葉	16:00

参考資料

Ⅲ 実行委員会について

計：17名（青少年育成袖ヶ浦市民会議の構成団体から各1名。地区住民会議は除く）
役員について・・・実行委員長(1名)、副実行委員長(2名)予定

Ⅳ 係別役割分担（案）

受付係・・・参加者の受付
会員募集係・・・一口100円の会員募集
来賓係・・・来賓の受付、案内
受賞者係・・・受賞者の受付、案内、表彰手順説明
発表者係・・・実践発表者受付、案内、（実践発表舞台準備及び片付け）
湯茶係・・・来賓、講師の湯茶準備及び片付け
会場係・・・会場整理（実践発表舞台準備及び片付け）
進行係・・・当日の司会進行
音響照明係・・・マイク音量チェック、照明セット
駐車場係・・・駐車場案内、整理

Ⅴ 準備日程

4月 8日（火） 実行委員推薦報告期限
4月25日（金） 第1回実行委員会議
（19：00～ 市役所 会議室3-2（北庁舎3階））
予定議題内容
（1）役員選出
（2）実施要項（案）及び予算（案）について
（3）啓発物品について
（4）参加依頼計画（来賓含む）について
（5）掲示物及び冊子の作成について
（6）役割分担について
6月 6日（金） 第2回実行委員会議（19：00～ 市民会館3階中ホール）
予定議題内容
（1）当日の詳細について係ごとに確認

令和7年度 市民会館・公民館等 職員録

教育委員会			
職 名	氏 名	備 考	
教 育 長	鵜 田 道 雄		
教 育 部 長	高 浦 正 充		
市民会館（昭和交流センター） 坂戸市場1566 62-3135			
職 名	氏 名	備 考	
館 長	島 田 宏 之	企画政策部参事兼交流センター所長兼務	
主 幹	齋 藤 瑞 穂		
副 主 幹	木 村 卓 郎		
主 査	富 土 井 雄 太		
平川公民館（平川交流センター） 横田115-1 75-2195			
職 名	氏 名	備 考	
館 長	齊 藤 秀 夫	平川図書館長・交流センター所長・行政センター所長兼務	
顧 問	本 橋 俊 哉		
主 査	林 涼 子		
主 事	南 端 彩 桜 里		
主 事	佐 伯 廉	福祉部障がい者支援課より	
長浦公民館（長浦交流センター） 蔵波513-1 62-5713			
職 名	氏 名	備 考	
館 長	須 田 紀 子	交流センター所長・行政センター所長兼務	
顧 問	地 引 等		
主 査	鈴 木 恵 子		
副 主 査	濱 崎 雅 仁		
主 任 主 事	進 藤 芳 隆	環境経済部廃棄物対策課より	
主 任 主 事	渡 辺 啓 介		
根形公民館（根形交流センター） 下新田1277 62-6161			
職 名	氏 名	備 考	
館 長	大 野 正 彦	交流センター所長兼務、総務部職員課副参事より	
顧 問	平 賀 栄 三 郎		
主 査	戸 塚 愛 佳	教育部総合教育センターより	
主 任 主 事	小 倉 康 嗣		
平岡公民館（平岡交流センター） 野里1563-1 75-6677			
職 名	氏 名	備 考	
館 長	神 保 繁 一	交流センター所長兼務	
顧 問	庄 司 三 喜 夫		
主 査	岡 本 ヤヨイ		
副 主 査	前 田 優 太		
生涯学習課 坂戸市場1-1 社会教育班:62-3743、文化振興班:62-3744			
職 名	氏 名	班 名	備 考
課 長	長 谷 川 秀 明		財政部納税課より
班 長	君 塚 和 枝	社会教育班	
主 査	飯 島 奨 人		
副 主 査	嘉 茂 尚 人		企画政策部平川交流センターより
副 主 査	中 條 はるな		
主 任 主 事	白 石 真 優		
主 事	亀 井 翔 太		
副 課 長	田 中 大 介 之	文化振興班	班長兼務
主 査	前 田 雅 之		
主 査	大 河 原 務		市民子育て部健康推進課より
学 芸 員	助 川 諒		
学 芸 員	池 田 輝		新任

※館長と顧問以外の職員（生涯学習課は除く）は、公民館業務を行う交流センター（企画政策部）職員